

RACDA(路面電車と都市の未来を考える会)30年間の歩み

RACDA設立から12年の歴史を、膨大なパソコン内のデジタルデータをもとに再現してみました。路面電車に関するホームページとしては、広島の山根正則さんによる「路面電車とLRTの館」が全国ネットワークのセンター的機能を果たしており、この歴史編纂では多くを引用させていただきました。それぞれの解説は岡が担当しましたが、ブログ開設後については、田辺のコメントを主体としています。

1995年 RACDA設立

10月1日 設立

10月7日 設立記念電車(RACDA号)の運転

設立記念セミナーの開催(講師 岡山大学環境理工学部教授石川洋文・副会長)



10月12日 第2回路面電車サミット in 広島 参加

岡会長、佐野事務局長、端山幹事が参加、次回サミット誘致に成功

岡の発言をきっかけに路面電車の日が6月10日に決定

12月24日 ワンコイン(100円)電車の運転(京橋朝市実行委員会共催)

1996年 路面電車の日シンボルマーク募集

1月10日 インターネット・ホームページ掲載

いち早いインターネットの導入は、RACDAを全国レベルに引き上げるきっかけ

1月20日 例会セミナー(日本路面電車同好会中国支部代表・加藤一孝氏)

路面電車シロウト集団のRACDAは当初広島の会の指導を仰いだ

3月16日 例会セミナー(岡山経済研究所上席研究員・大崎泰正氏)

大崎氏は岡山商工会議所の都心1kmスクエア構想を研究所でまとめられた人物

4月・5月 「路面電車の日」シンボルマーク・キャラクター全国公募事業

4月 「岡山街づくり連絡協議会(UPCO)」設立(構成団体8の1つとして参画)

商工会議所の荒木雄一郎中心市街地活性化特別委員長を中心

年間800万円を各企業から集め、RACDAは毎年数百万円の資金を得る

6月1日 岡山街づくり連絡協議会設立記念セミナー開催

6月10日 第1回「路面電車の日」記念、シンボルマーク・キャラクター発表式

記念電車の運転、記念講演会の開催



7月27日 例会セミナー(都市交通問題研究家・服部重敬氏)

月刊鉄道ファン紙上でLRTを紹介された服部さんは、我々の教師だった

10月2日 岡山トランジットモデル都市研究会設立

(構成:岡山街づくり連絡協議会、建設省岡山国道事務所、岡山県、岡山市、岡山県警、JR西日本等)

ここでの議論と人脈がのちに路面電車延伸計画やMOMO導入に生かされる

10月5日 RACDA 設立1周年記念公開シンポジウム開催

(東京大学教授・大田勝敏、建築家・株式会社ヘキサ代表・中筋修、法政
大学社会学部教授・福井秀夫、高知県知事・橋本大二郎ほか)

石井知事の選挙応援に着た橋本知事を招いてのフォーラムは、後に高知での駅前延伸に生きる

12月7日 例会セミナー(都市交通問題研究家・服部重数氏)

RACDA 設立1周年記念公開シンポジウム報告書の一般配布

12月29日 第2回ワンコイン(100円)電車の運転(京橋朝市実行委員会共催)

1997年 岡山路面電車サミット開催 日本のLR T始動

2月8日・13日 グルノーブル路面電車市民視察団の派遣



岡山駅には逢沢一郎さんもお見送り



グルノーブルの通訳は画家さんだった



ローランドリース副市長、通訳は逢沢さんの紹介でストラスブールノ副領事



今でも世界一のデザインのユーロトラム、偶然事故に出くわし、先頭部のスカートがマジックテープで張られていることを発見。



5泊6日の強行軍の上、香港経由になるというハプニング。しかし広電3人、岡電とプロがたくさん参加した、理由は格安ツアー。「市民団体だから格安じゃなくちゃ」との斉藤副会長の企画、代理店のJRは泣きました。ストラスブルではローランド・リース副市長と会談、逢沢議員の根回しで日本の副領事が通訳。ツアーのビデオは500本製作され、日本のLRTの教科書となりました。山陽新聞夕刊でも連載されました。(岡)

3月9日 例会セミナー(ヨーロッパLRT視察報告)岡山駅前広場整備に対して緊急提言

5月30日・6月1日 第3回路面電車サミット in OKAYAMA 開催

全国から従来の路面電車事業者、愛好支援団体のほか、官公庁、議員、学者、ゼネコン、コンサルなど350名参加が参加し、約5倍の規模となりました。建設省、運輸省が本省として民間主体のイベントに正式後援した稀有な例。岡山電気軌道は会場で駅前乗り入れと市役所筋延伸の希望を突然発表するという、うれしい誤算もありました。当時の岡山市は、安宅市長の時代で、路面電車には全く興味を示していませんでした。懇親会で挨拶した宮崎助役は、「民間でおやりになったらいい」とのそっけない挨拶でしたよ。しかし3ヶ月後には岡山市は路面電車延伸の委員会を発足させます。サミットが大変な圧力になったわけです。





会場はグランヴィア、本会議の様様



運輸省山下鉄道路局技術課室長の講演



国代、川端、内山、鈴木の受付スタッフ



上川、佐野も若い



岡会長、宮崎助役、上川顧問、福武社長



サミットの総予算は1300万円あまり。商工会議所、岡電、岡山県、岡山市などの協力でできたのですが、岡山サミットで路面電車復活の流れが確固たるものになったとの確信が持てたのも事実です。しかしそれからが長いなあ。(岡)

6月10日 第2回「路面電車の」日記念・市民フォーラム開催(講師:水戸岡鋭治ほか)



このフォーラムの中で、水戸岡さんに低床車導入時のデザインを頼んでしまったのです。司会の田淵泰子さんは臨月間近の大きなおなかで、水戸岡さんに言い寄った、「ボランティアでやります」と水戸岡さんも言うてしまうんですよね。

それからストラスブールのローランド・リース副市長に来ていただくことになっていたのに、市長に昇格したため実現しなかったのです。(岡)

9月25日 RACDA 設立2周年記念公開シンポジウム開催

(AMDA 代表・菅波 茂、21世紀ひょうご創造協会域政策研究所・本田 豊

ヒューマンネットワーク熊本・村上 博)

10月5日 第3回ワンコイン(100円)電車の運転

11月2日 エコ・フェスタ開催(京橋朝市会場内)第4回ワンコイン(100円)電車の運転

11月15日 世界のLRTカレンダー制作

11月19日 アメリカ公共交通視察団出発

齊藤団長など 名、サンノゼなど訪問

12月1日 「路面電車サミット1997 in OKAYAMA」報告書作成

12月20日 「路面電車走行空間改築事業」創設が決定

1997.12.21付けの中国新聞によると、「市街地の交通渋滞緩和策[路面電車支援事業]の制度新設が認められた。対象は広島、岡山、長崎の3市で、全国枠の街路事業費2,740億円の中から路面電車路線延長、新設を検討する」との報道である。

(広島・路面電車とLRTの館、山根正則さんの私見) 我が国へのLRT導入促進運動をしている当会としては、このたび大蔵省から[路面電車支援事業制度]が認められたことが大いに意義があると思う。対象の広島市は差し当たりはJR横川駅前の路面電車終点停留所のJR駅方向への接続改良と思われる。が、いま論議真っ最中の‘東西線は新交通か広電LRT新線建設か’の課題に、今回の決定は広電のLRT新線建設の方法へと追い風になるのではないだろうか岡山

市は岡山電軌による環状線新設の計画が対象なるのであろう。長崎では滑石地区への延伸案が対象であろうか。(山根)

1998年 運動各地へ波及、バスマップ作成

5月3日 RACDA高岡発足記念イベント、トロコレース車両貸し出し

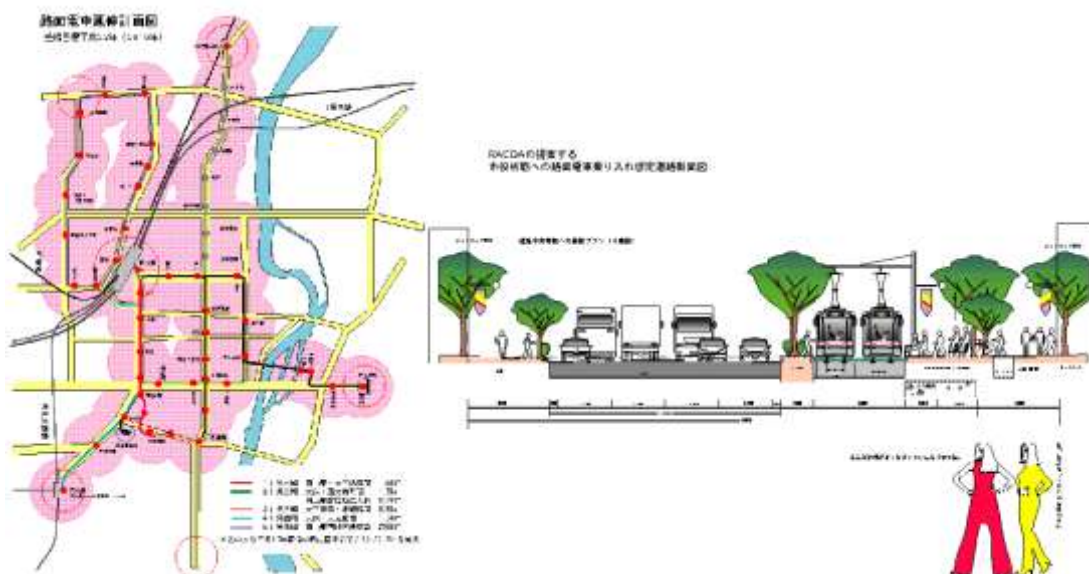
トランジットモール実験を実施、各地支援の第一号



6月7日 第3回路面電車の日・市民フォーラム開催

人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして

RACDAアクションプログラムの発表



8月6日 路面電車版「市民街づくり会社」計画の発表

8月9日 路面電車環状化に向けた夏休み親子体験ワークショップ開催

UPCOのまちづくりWS第1弾、電車バス乗り継ぎ実験など実施



日本初の電車・バス同一ホーム乗り換えと実験



ワンステップバスでのバス停調査



日本初？路面電車運転教室



ペーパークラフト工作教室、岡山市の高次さんでは



麦酒電車も実施、その後のイベントの基礎となる

路面電車ウルトラクイズ

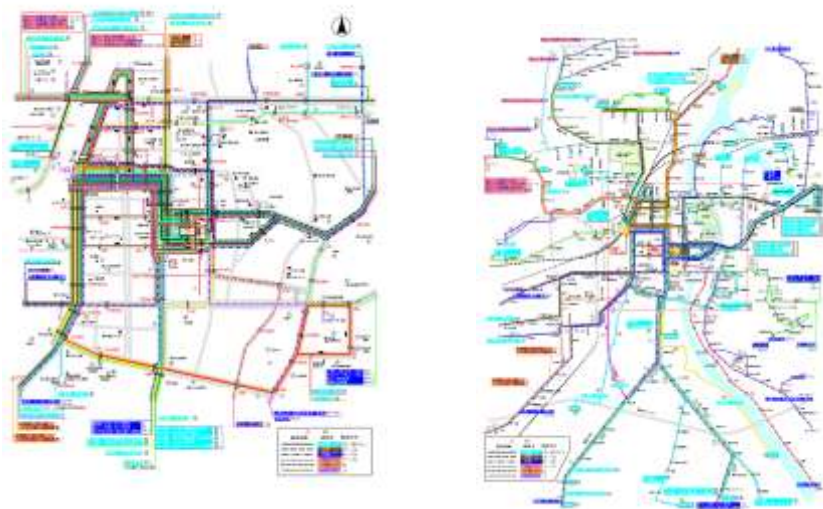
夏休み親子体験交通ワークショップ用

1. 路面電車が日本で最初に登場したのはどこの町。 1. 東京 2. 横浜 3. 京都
2. 岡山に路面電車が登場したのはいつ。 1. 明治45年 2. 大正12年 3. 昭和3年
3. 日本では現在いくつの町で路面電車が残っているか。 1. 15都市 2. 19都市 3. 28都市
4. 日本でもっともたくさん路面電車が走っているのはどこ。 1. 函館 2. 広島 3. 長崎
5. 岡山の路面電車のレールの幅はいくら。 1. 1000mm 2. 1067mm 3. 1435mm
6. 岡山の路面電車の架線の電気の電圧は。 1. 直流600V 2. 直流1500V 3. 交流20000V
7. 岡山の現在走る7000系路面電車は
 1. よそにあったものを塗装変更したもの

2. 台車だけ古いものを利用し、車体だけ新たに製造したもの
 3. 全く新しく設計して作ったもの
8. 路面電車の建設費は地下鉄の 1. 5分の1 2. 10分の1 3. 40分の1
9. 日本の路面電車の最高速度は 1. 時速40キロ 2. 時速60キロ 3. 時速90キロ
10. 日本では路面電車の走る位置は
1. 道路中央と法律で決まっている
 2. 道路中央と決まっているが、特例で歩道よりも敷設できる
 3. 道路中央でも歩道よりでもどちらでもかまわない
11. 日本の路面電車の建設に、国は
1. 一切補助をしていない
 2. 昨年からの路盤建設に建設省が補助を開始
 3. 来年からの路盤に建設省が、車両全部に運輸省が補助を開始
12. 1978年以来世界ではいくつかの都市で路面電車が建設されたか。
1. 約10の都市
 2. 約50の都市
 3. 約120の都市
13. 路面電車に自転車は
1. 世界のどこでも乗せているところはない
 2. アメリカやヨーロッパの一部では乗せられる
 3. 日本以外では乗せるのが常識となっている

文責 岡

9月3日 岡山市内「ぼっけえべんりなバスマップ初版」(A3版両面カラー・5千部)の作成



昭和62年、岡山市には公共交通担当といえば、企画室に担当が一人いただけだった。岡山未来デザイン委員会の「交通シンポジウム」のために担当と話をしていた、年に一度「さわやかキャンペーン」といった、公共交通を利用しようという日を設けているという。そのパンフレットは結構豪華で、これを各企業に郵送しているという。「でも利用者にバスマップなどの情報提供はしないのですか」と質問したら、言葉がなかった。「このパンフレットを作るくらいなら、バスマップを作ればいいのに」と思った。

路面電車サミットの年、ヨーロッパに視察に行って、どの町にもバスマップ、公共交通マップがあるのに驚いた。路面電車延伸のためにはまずバスマップだと思った。親友の戸村君に飲みながら相談したら、酔った勢いで「やろう」と言ってくれた。RACDAのバスマップ担当は徳田さんに決定、メンバー戸村君に岡電のバス部長、岡

国の牧野君。最初はUPCOにお願いして100万円いただくことになった。それで足りないので牧野君が岡国のホームページにインターネット版を掲載することを条件に100万円出してくれた。

バス協会には最後に校正していただいた。初めから相談していたら、まとまらなかっただろう。「よくできている」と二版からは毎年30万円いただくことになった。岡山県の本田副知事に見せたら。「国交省に昔岡山にいた金澤さんがいて、自動車交通局長の総務課長をやっている、持っていつてみたら」といわれ、早速持参。「あんたらがさぼってるから、しびれが切れて、バスマップを作ってしまった」と言ったら、「シロウトが作ったにしてはよくできている、中国運輸局長に電話しておくから、持って行ったら」と言われて、早速持参。そこで後に岡山運輸支局長になる三原さんと知り合う。なお金澤さんは今年6月まで自動車交通局長で、20年ほど前、岡山の岡南飛行場の存続運動を中塚さんと一緒にやったことがある。

こうしてバスマップは長い間のまちづくりの、友達づくりの中から生まれた。友達は大事にしよう、ずっと。
(岡)

10月1日 市民街づくり会社「ラッコ・コーポレーション」の設立準備着手

11月29日 第1回西川トランジットモール実験(西川フリーマーケット実行委員会と共催)

ノンステップ低床バスによる日本初の歩行者モール走行実験。10年以上続いたフリーマーケットがなくなるというので、なんとか存続をはかるために企画。UPCOでわずか3週間前に思い立ち、岡山国道事務所の牧野調査設計課長と岡が、岡山西署と県警本部を説いて歩行者天国にし、そこを岡電のノンステップが走りました。バス評論家の鈴木邦彦さんもやってくるというおまけつき。(岡)

1999年 日本初のトランジットモールを市民が実行

1月29日 全国街づくり屋台村大賞受賞((社)日本建築士連合会主催)

2月27日 公共の色彩を考える会シンポ「まちの色彩ー動き出した市民」会長出演

3月28日 第2回西川トランジットモール実験

市街地中心ノンステップループバスの試験運行

4月3日 「岡山の街づくりを考える」ラジオ朝までディベート番組

(萩原市長、伊原木天満屋社長ほか)

4月 岡山市議会議員選挙立候補者街づくりアンケート実施

5月22日 枚方LRT研究会1周年シンポにて会長基調講演

詳細 <http://www.techno-net.com/~lrt-hrkt/kaiho6/HurdleToLRT.htm>

5月25日 「路面電車とまちづくり」出版(学芸出版)

6月3日・ 第4回路面電車サミット(豊橋)に構成団体として参加

6月5日 早稲田大学第31回セミナー「都市交通の戦略」会長パネラー

6月6日 第4回路面電車の日・市民フォーラム開催

ホンダ秋月氏、九州東海大学渡辺教授、岡山商工会議所福武氏、AMDA 管波氏)

「路面電車とまちづくり」出版記念パーティ開催。ネットで知り合った執筆者たちは全国から集まり、初対面の人は、「あなたでしたか」と壇上で握手する。学芸出版社からの出版依頼も佐野さんへのメール。まさにインターネット時代の落とし子が我々のネットワークだ。(岡)

6月19日 広島電鉄導入シーメンス社製低床車両体験乗車会

6月 第3回西川トランジットモール実験

9月28日 大学病院通り交通量調査

10月・19日 第4回西川トランジットモール実験

10月3日 ミニ路面電車フェスティバル(路面電車(停止)を使った桃太郎大通りトランジットモール実験) 県警本部と色々交渉したが、電車を動かすことは認められなかった。

11月6日 RACDA高岡、岡山訪問と交流会



11月13日 ミニフォーラム開催(会議所のCG発表)アメリカの街づくり報告

11月28日 県庁通りトランジットモール実験



2000年 市役所筋延伸計画まとまる、低床電車導入RACDA街頭募金

1月19日 岡山市役所ロビー展に協力

2月1日 低床路面電車購入応援募金の呼びかけをはじめる。

2月05日 定例会(路面電車延伸路線、事業方式、資金計画等の発表)

2月11日 第3回路面電車(LRT)市民視察団の派遣

(フランス、スイス、ドイツ、オーストリア)

RACDAのヨーロッパLRT視察は第1回が'97/2に行われ、続いて97/11第2回が行われた。このときの構成メンバーはRACDA会員と岡電、広電等の事業者との混成団であった。この関係者が現地を見たということが、岡山市の路面電車提案への大きな原動力になっていると推察していた。

このたび、またまたRACDA副会長斉藤桂女史の発案で第3回を決行することになった模様。(^^)

注目すべきは構成メンバーで、今回は市民、事業者以外に岡山市役所という行政の当事者が加わっていることである。行政企画者がLRT先進市にて実際に活用状態を見学するということはたいへん重要事で価値があると言えよう。3年前には館主も「広島市の当事者である市プランナーと交通小委員会が合同にてLRT先進都市の視察を実行するよう」お勧めしたのを思い出した次第。

岡将男RACDA会長談:「岡山延伸は大詰めをむかえています。ちょっと目が離せませんよ」(山根)

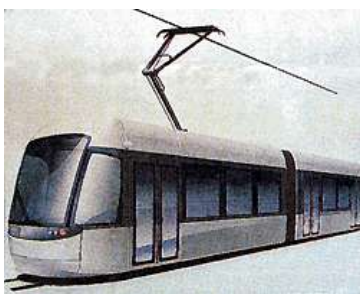
2月22日 第1回街頭募金(天満屋岡山店前、プロモーションビデオ)



- 2月27日 「岡山市まちづくり交通計画調査」で延伸事業計画案まとまる
- 3月1日 「ほっけえ便利なバスマップJ」第2版リリース
- 3月5日 京橋朝市会場にて募金・署名活動(以後毎月実施)
- 3月7日 イタリア・ブレタ社より100%低床車の提案を受ける
- 3月10日 バスマップ6400部、岡山市内の小学3年生にプレゼント
- 3月 京都今出川通りに路面電車を走らせる会設立総会で基調講演
- 4月1日 松山「マドンナ電車からまちづくりを考える会」設立総会、会長基調講演
- 4月16日 第2回ミニ路面電車フェスティバル(桃太郎まつり)
- 5月21日 後楽園通り歩行者天国事業とタウンモビリティ実験(共催)



- 6月5日 岡山電気軌道、超低床路面電車の13年度中導入を発表



- 6月9日 水戸岡鋭治氏に岡電導入の低床路面電車のデザインを依頼
- 6月10日 第5回路面電車の日・市民フォーラム(西日本路面都市ネットワーク会議)開催

- 路面電車フェスティバル(北車庫) 午前10時～
- ・路面電車と力くらべ(綱引き)

- ・親子路面電車運転体験教室
- ・路面電車の模型工作や塗り絵、風車づくり
- ・人形劇

ドイツ製ミニ低床バスの展示・試乗会

金沢市で走っているドイツ・クセニッツ製のミニノンステップバスと同じタイプのバスがやってきます。

●第4回「路面電車の日」記念フェスティバル

於ける:南車庫 1:15p.m～

第一部 さあ、待望の低床路面電車だ!!(岡山導入 LRV 車両の発表?)

ミニ路面電車の乗車会、親子路面電車体験教室、車庫コンサートほか

第二部 第6回 RACDA 街づくり市民フォーラム

「西日本路面電車ネットワーク会議」(岡山市、松山市、高知市、兵庫県ほか)

7月9日 全軌協より低床路面電車購入応援募金 10万円寄贈される

7月7日に全国路面軌道連絡協議会(全軌協)の第18回定時総会がありました。今回は異例のプログラムにて総会後に全国の路面電車愛好支援団体の代表者をも招き、関係官庁、事業者、関係団体との意見交換会を開くということにて、私どもにも招請が参りました。

われわれ支援団体にとっても一度に他団体の方と直接情報交換を持てることは有益として、広島からも2名参加することになりました。(自費参加です) 会場は大手町の経団連会館でしたが、11時30分から約2時間、出席者の皆さんは大いに歓談に勉めたことでした。

会のハイライトは、RACDA が始めた岡山市の環状化・延伸事業が実現するための車両購入募金運動に協賛し、全軌協より RACDA に対する募金の授与式でありました。挨拶した岡さんの謝辞の中で「岡山市がまだ募金を受け取ってくれないので・・・」がありましたが、これはたぶん岡山市が受領すると本決定というか義務ができるので現在は躊躇しているのでしょう。本日ですますプレッシャーの追加ですね。(=_^)=)



大枚の募金を得て嬉しそうな岡さんの挨拶
同会の斉藤、徳田嬢がエスコートとはさすが



珍しい機会を逃さじと会話は弾む

会は和やかな歓談にて終始し、日頃顔を合わすことのできなかった遠くの活動家達が忌憚のない意見交換・情報交換ができて楽しそう。散会時まで笑顔が絶えませんでした。館主も10数人の方と歓談することを得ましたが、総出席者90人に対してまだまだ時間不足で、この点が心残りのまま辞去しました。(=_^)=)

(広島・路面電車とLRTの館、山根さんのホームページより)

7月19日 福井市TMO主催「路面電車とまちづくりを考えるフォーラム2000」

会長基調講演、これがきっかけでROBAの会設立

9月9日 ヨーロッパ交通と環境クラブ会長 Matthias Zimmermann 氏

RACDA を訪ねて来岡、交流

9 月 15 日 地球感謝祭「乗るより話そう早稲田の話、都電の話」討論会、会長参加

主催：地球感謝祭 2000 実行委員会・まっちワークグループ早稲田

04872 山田 達也 【東京】早稲田のシンポジウム

「乗るより話そう早稲田の話、都電の話」討論会へ行って来ました。まさか岡さんご本人がいらっしゃるとは、思いもしませんでした。(^^)

先月より工事が開始され 11 月に開業する「荒川一中前」のために 18,000 人分の署名を集めた地元の石坂さん、都電研究家と紹介された吉川さんは、自らを「鉄道ファン」と称してわかりやすく過去のお話をされていたり、東武博物館の花上さんは車両の話ばかりで「どうやってレールを引くか」と言う部分の話しがなかなか出てこない、都電の頃の大手町の乗り換えは簡単だったが現在の地下鉄は延々と歩いている、などなるほどなあ～、と思うトークが続きます。

交通局の佐々木係長からは、都電博物館の話し（出来たらいいなあ）や路面電車サミットをぜひ東京で、などとなんとも心強い御発言！

都市計画局の松本主任は元交通局出身だそうで、現在の東京の渋滞による経済損失は 4 兆 9 千億円、都内を走行する車の半分以上が貨物車であり道路が荷捌きに使われている現状改善のために地域ごとに荷捌所があると良い、ロードプライシングをエリアや課金方法などについて現在検討中、などのお話がありました。

また柴田教授と後半から壇上へ飛び入り参加された岡さんのトークは最高でした。

国内に路面電車に関する民間団体が既に 40 もあること、いかに市民に親しんでもらう努力をするか（車内でコンサート、ビール列車）、CO2 排出量では路面電車を 1 とするとバスは 3、自動車は 9 で、都市交通で路面電車は無視出来ないものであること、などなど…。

特に都市計画局と交通局から参加されたおふたりは、何だかタジタジだった様子にも見えました。(^^;

岡さんのお話をいろいろとメモも取られておりましたので、今後徐々に流れが変わって東京で都電延伸の話しが本格的に出てくるかも知れません。

9 月 30 日 松江市にて路面電車シンポジウム、会長基調講演

基調講演 1：人と環境にやさしい路面電車 岡山 RACDA 会長 岡 将男氏

基調講演 2：岡山市の路面電車延伸計画 岡山市都市整備局都市計画部長 井上達也氏

基調講演 3：LRV が走った広島電鉄 広島電鉄電車カンパニープレジデント中尾正俊氏

基調講演 4：松江市での路面電車活用の可能性 島根大学生物資源学部 小池浩一郎氏

トークセッション：「路面電車で街がよみがえる」

パネラーは 4 氏＋一畑電鉄鉄道部長宮廻宏氏および松江天神町商店街理事長中村寿男氏

コーディネーター：環境イニシャチブ代表：こむろ寿明

10 月 8 日 RACDA 設立 5 周年(ウイズセンター)

水戸岡鋭治氏デザインの世界初の狭軌対応超低床路面電車デザインの発表

12 月 気候ネットワークシンポジウムにパネラーとして参加

12 月 24 日 後楽園歩行者天国開催

2001 年 市役所筋交通社会実験でも延伸決まらず、国会 LRT 研究会始動

2 月 14 日 岡山市長へ超低床路面電車応援募金 500 万円寄付・署名提出

募金と署名提出についての声明文

路面電車と都市の未来を考える会

21世紀初めてのバレンタインデーに、私たちは小さいけれどもとても意味のある贈り物ができたと、大変よろこんでいます。

20世紀最大の発明ともいわれる自動車、それは私達を豊かにそして便利にしてくれました。しかし今日、私達は豊かすぎ便利すぎる私達自身の生んだ社会の様々な問題に悩みはじめています。

この募金と署名で、私達は20世紀の自動車社会という重い扉をノックしたにすぎません。しかしそのノックは人々の心に響くとても澄んだ音色のノックであったと思います。というのは、人々にとって便利すぎる自動車を少しでもやめようという選択は、大変勇気のいるものだったからです。

この500万円は、路面電車延伸計画47億円、超低床路面電車購入費2億2000万円にくらべれば小さな金額かもしれませんが、全くの個人ばかりがたった100円少々出して乗る路面電車のために、それもまだどうなるかわからない事業のために、またこれほど個人の直接的利益の見えない事業のために、21世紀の夢を託して募金してくれた尊い500万円だったと思います。

またこの募金、署名の動きが岡山での超低床車輛の購入につながり、国の補助制度が新設されましたし、路面電車導入を前提とした日本ではじめての交通社会実験の実施につながりました。そして今週行われる実験を通じて、いよいよ岡山自身が21世紀の時代の扉をノックすることになります。私達はそのノックの音が世界に鳴り響くことを信じています。岡山が世界で一番住みやすい国際福祉都市になることも信じています。

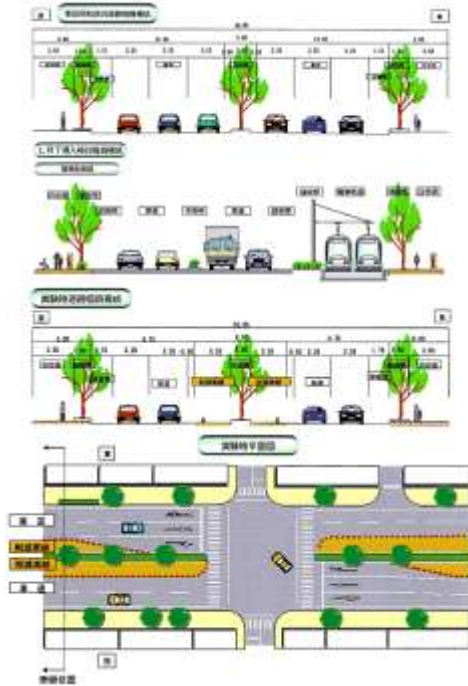
どうぞ岡山市におかれましては、市民の心の中にある暖かくひかえめな良心の表現であるこの募金と署名を、有意義に使っていただきたいと思います。



2月17日 21世紀RACDA交流会、翌日定例会、クセニッツ低床バス試乗

17～20日 路面電車導入を想定した岡山市交通社会実験支援





3月10日 高知ユニバーサルシンポジウム会長パネラー参加、橋本知事らと共演

3月21日 紀伊国屋N T Tクレド店で「路面電車とまちづくり展」開催 4/3 まで毎日

5階紀伊国屋書店では、路面電車とまちづくり展が開催されています。今岡山では市役所から大学病院までの路線延長が検討されており、環境共生型のあたらしいまちづくりとして日本全国から注目されています。世界の路面電車のパネルや模型の展示のほか、路面電車のチョロQ、書籍などの即売も行っています。

3月25日午前10時から午後1時

5階紀伊国屋書店では路面電車とまちづくり展が開催されています。関連のパネルや模型の展示、書籍グッズの即売も行っています。また午後1時からNHKテレビでも紹介された「イッポー・ツー子さんの街中コント」が上演されます。街中生活のエンジョイ方法をみんなで楽しく考えましょう。

4月1日午前10時から午後3時

5階紀伊国屋書店では路面電車とまちづくり展が開催されています。関連のパネルや模型の展示、書籍グッズの即売も行っています。また午後1時から本邦初公開、来春登場の超低床路面電車のペーパークラフト教室を開催します。お子様でも十分にたのしめますので、どなたでもご参加ください。またぬり絵も用意しておりますので、幼児連れの方もどうぞご参加ください。

5月15日 国会内に「LRT研究会」発足、市民団体側のセッティング担当

5/16 付け中国新聞記事およびRACDA岡会長の nifty への書き込みによると、超党派的に国会議員が集合し、環境に優しく中心市街地活性化に貢献できるLRTについて研究会がこの5月15日発足したそうです。参加者は国会議員15人と秘書7人が参加。代表世話人は逢沢一郎(自民党)と金田誠一(民主党)。世話人は佐藤静雄(自民党、国土交通省副大臣)、野田聖子(自民党)、塩崎恭久(自民党)、高木義明(民主党)、松野頼久(民主党)、佐藤公治(自由党)、金子哲夫(社民党)、西川太一郎(保守党)の各氏で、新聞解説によると、岡山、岐阜、広島や長崎など路面電車が走る地域出身の方々ようです。

当日はRACDAなど全国のLRT支援団体の代表など約20人も同席しました。初会合なので、国内外の路面電車の利用状況などを調査し、新規路線や超低床車両導入に対する財源措置の拡充策などを検討した。更に国土交通省に働きか

けるなどの活動や各都市の実態調査、市民団体との情報交換を通じてシステム実現をめざすことになったそうです。
なお当会は会の性格から参加は遠慮しましたが、研究会の意義については充分認識していきたいと思います。(山根)



超党派国会議員による LRT 研究会 2001年5月15日 鈴木一夫(鉄道利用者会議) 報告

5月15日14時から15時までの一時間衆議院議員第2議員会館第2会議室で実施された LRT 研究会に全国鉄道利用者会議は NGO の一つとして参加した。国会議員約15名(代理含む)が参加。

代表世話人は逢沢一郎(自民)(敬称略、以下同じ)、金田誠一(民主)。ほかに主な出席者に野田聖子、塩崎恭久、江田五月。ただし選挙区に路面電車が現存する地区選出の議員ということで、小淵内閣に軌道法について質問趣意書を提出した桜井充参議院議員の名前はない。

またオブザーバーとして市民団体が9つ参加。

「路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)・岡山」、「都市交通会議・熊本」、「札幌 LRT の会・札幌」、「21世紀都市交通国民会議」、「路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)・高岡」、「ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA の会)」、「岐阜未来研究団」、「マドンナリンク(松山)」。

全国鉄道利用者会議からは鈴木事務局長が参加。官僚は今回不参加。

第一回目のため各参加者からの自己紹介、および LRT 研究会にオブザーバー参加した全国の路面電車関係の市民団体のうち「路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)・岡山」会長の岡将男(おかまさお)が基調講演。

その後 NGO より国会議員への意見の要請をおこなう。

主な意見として大正時代の軌道法のチェック(尚書きで現実にすり合わせている面を含め全面改訂を要望)、岡山電気軌道の年収が5億で LRV は2億、車両には補助が必要。「のぞみ」は1両2億円かかるが東京博多を往復すると一日1000万円の収入がある。路面電車は1億円だが一日の収入はそんなない、国の補助をふやせ。環境問題や都市空洞化には LRT がいい。社会実験を警察が交通規制の名のもとに拒否、あるいは交渉に時間がかかる原因になる。独立採算制を見直せ。

利用者会議としては2点。ひとつは時間がない(福井の件を事例)ので時間軸をきめスピードを持った運営と、ふたつめに JR と路面電車の乗り入れを行うことで利便性が向上するのでその面での各種取り組みが必要。マスコミは熊本日日新聞ら。

6月10日 第6回路面電車の日・はじめて岡山駅前広場でイベント開催

趣旨 平成7年に全国路面電車愛好支援団体協議会で制定された、6月10日の路面電車の日、新時代の路面電車または L R T について市民に認知してもらう事。交通実験であきらかになった、市民への情報提供不足の解消の一環として、都市交通 I T 市民フォーラムを開催し、公共交通全般の必要性を強調する。また来年導入の超低床路面電車への知識を広める。

イベント内容

6月10日（日）岡山駅前広場にて（午前10時～午後4時）

1. 都市交通 I T 市民フォーラム <http://www1.harenet.ne.jp/~racda/>

インターネットを通じて岡山駅利用者をはじめとして全国に向けて、公共交通へのアンケートを実施し、リアルタイムに公表、本邦初の試み

最近の各地の L R T、路面電車の取り組みを新聞記事で追ったパネル展示

岡山での路面電車延伸のパネル展示、L R T の鉄道模型展示運転

2. 超低床路面電車の愛称募集（6／10～9／15）

国県市と市民募金で買う電車の意義を強調、その場でも投票してもらう

3. ミニ路面電車の運転

来春登場の低床路面電車をモデルにしたミニ電車試乗会

（無料、小学生以下の児童対象）現在岡山電気軌道で製作中

オープニングセレモニー 10時 ミニ路面電車出発式



左のデザインの電車の愛称募集とミニ電車の運転です

6月10日（日）岡山電気軌道にて（正午～午後3時）

4. 路面電車運転教室

岡山駅で募集、先着20名（無料、

小学生と保護者対象）

主催

UPCO（岡山街づくり連絡協議会）RACDA（路面電車と都市の未来を考える会）

後援

国土交通省中国地方整備局岡山国道工事事務所、岡山県、岡山

市、国土交通省中国運輸局岡山陸運支局

協力 西日本旅客鉄道(株)岡山支社、岡山電気軌道(株)

問合せ先 RACDA TEL 086-232-3022 FAX 086-232-6554 当日 090-3743-4778



吉備線 L R T 化を意識して、初めて岡山駅前広場で開催しました。当時の J R 西日本の南谷会長に直接メールしてお願いしました。（岡）

8月4日 桃太郎祭にて路面電車展開催

8月9日 第2回国会 L R T 研究会、服部重敬さん講演

また市民円卓会議にて官僚との L R T 懇談

9月22日 バスマップ第3版リリース



10月2日 第3回国会LRT研究会、国側からの制度説明

10月24日～28日 第5回路面電車サミット・熊本開催、メンバー参加

●24日（水） 熊本市国際交流会館

10時～13時：講演1「ライトレール、路面電車の可能性、優越性と郊外路線乗り入れ等」

ハルトムート・トップ氏（ドイツ・カイザースラウテルン大学教授）

（館主注：氏は LRT WORKSYOP '97 にて東京・熊本にて講演された方です）

14時～17時：講演2「人間のためのまちづくりと都市の公共交通のあり方」

ヤン・ゲール氏（デンマーク王立芸術アカデミー准教授）

18時～20時：上記2氏を交えたディスカッション

●25日（木） 熊本市国際交流会館

10時～13時：講演3「持続的成長可能な都市＝サステナブル・コミュニティの思想と実践、そして都市交通」

ピーター・カルソープ氏（アメリカの都市プランナー）

14時～17時：上記3氏による討論会：「世界の都市交通が目指す方向、日本への提言」

19時～21時 歓迎レセプション

●26日（金） 熊本市国際交流会館

9時半～14時：路面電車サミット本会議

主催者挨拶、来賓挨拶、国土交通省より事業説明、各地の現状報告、サミット宣言など

15時～：低床電車試乗会、市内視察など

●27日（土）

10時～午後4時：市民環境フォーラム（会場：オーデン）

22時～：夜なべ談義「クルマに頼らない街を実現するために」（会場：水前寺コンフォートホテル）

●28日（日） 街頭イベント

●22～30日 各国車両模型、パネル展示など

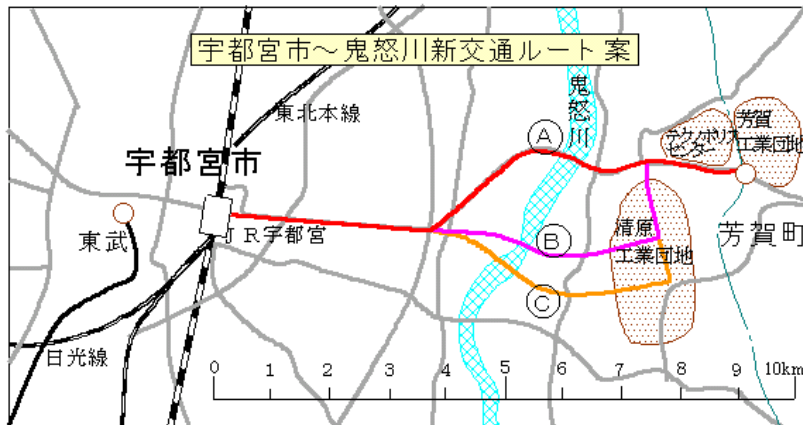
11月15日 「ノーガード電停の乗客に対する安全対策に関する意見書」を提出

小橋電停交通事故について、岡山県土木部長に提出、後電停改修実施

11月29日 第4回国会LRT研究会、上岡直見さん講演

2002年 MOMO導入、全国から見学者殺到、RACDAゼミ開始

1月19日 宇都宮まちづくりシンポジウムに会長パネラー参加



■ 講演テーマ. 「21 世紀の都市交通の主役・L R T」.

- 基調講演： 中 尾 正 俊 氏.[広島電鉄（株）取締役 電車カンパニープレジデント].

■ シンポジウムテーマ.: 「L R Tを活かしたまちづくり」.

- コーディネーター 古池 弘隆 氏(宇都宮大学教授・交通計画、交通工学、都市計画)
- パネリスト 中尾 正俊 氏 (上記).
- パネリスト 岡 将男 氏 (岡山市 RACDA 会長).
- パネリスト 高木 美保 氏 (女優・栃木県那須居住・エッセイ・講演).
- パネリスト 中津 正修 氏 (トヨタウッドユーホーム社長・宇都宮市).



2 月 12 日 バスマップ寄贈式、岡山市教育委員会から市内中学 1 年生全員に

4 月～5 月 清輝橋線電停バリアフリー工事（岡山国道事務所）

4 月 17 日 第 5 回国会 L R T 研究会、森地茂東大教授講演

5 月 25 日 超低床路面電車「MOMO」岡山に到着、全国から見学者多数



形式	9200型
全長	18m（従来車12m）
全幅	2.4m（＼ 2.2m）
全高	3.407m（＼ 3.24m）
床面高さ	地面から30cm（＼ 75cm）
定員	74人（立席54、座席20、他にハイベンチ設置（従来車約80人）
車椅子スペース	前後扉付近に2カ所
バリアフリー	ノンステップ乗降
最高速度	40キロ（運行時平均速度約20キロ）
レール幅	1067mm
導入費用	2億3千万円〔内、公共交通移動円滑化設備整備費（14年度予算）として国、県、市（市負担額の中に市民からの寄付金500万円を含む）から1億1千万円の補助を受けます。

6月～7月 MOMO EXHIBITION

MOMOを中心としたデザインとまちづくりをテーマにした展覧会



6月8日 RACDAのMOMO試乗会、RACDA定例会と交流会

岡山市主催市民フォーラム「人と環境にやさしいまちづくり」連動



6月9日 第7回路面電車の日・ミニ路面電車フェア（岡山駅前広場）

感謝状 謙 謝礼借用証書

水戸岡鋭治殿

水戸岡鋭治氏におかれましては、岡山の市民グループ、というよりは遊び人グループRACDAのたくらめる、超低床路面電車の導入に賛同され、故郷岡山のためとは申せ、自らのドーンデザイン研究所の諸君を巻き込み、無償ですばらしいMOMOのデザインをしていただきました。まさに世界一のLRVが誕生しました。

さらには今回導入に際し、MOMO展開催ならびにMOMOグッズの作成に関しても、我々に負けず劣らず遊び心を発揮され、ご協力いただきました。

しかしこうした貴殿の多大なる貢献に報いるに、我々の資金力は郷土出身の内田百間先生にならいて、微々たるものであり、謝礼たるやわずかに消費税を支弁する程度であります。

そこでRACDAでは錬金術が成就するまでの間、水戸岡鋭治氏に対し、金一億MOMO（MOMOは岡山の地域通貨からアジア共通通貨に発展する予定、円との交換レートは未定）の謝礼借用証書を差し出すことにより、来るべき将来（期日未定）支払うことを約束いたします。

RACDA会長

岡将男

公明新聞 平成14年 6月 19日

路面電車に超低床車が登場

公明、署名運動で推進車イス・高齢者の乗降、楽に

岡山市内を走る路面電車（岡山電気軌道）に段差のない超低床（ノンステップ）電車・愛称MOMO（もも）号が導入され、このほど市民にお披露目された。この日は、1997年から、超低床電車の導入を関係者に要望

してきた同市の「在宅障害者の生活を考える会」の坂本啓治会長と市議会公明党の田尻祐二議員が、同僚の増川英一議員らとともに体験乗車した。

MOMO号は、2両連接車で全長18メートル(従来型12メートル)。導入費は2億7000万円(国が4分の1、県・市が各8分の1を補助)。

乗車定員は74人で、一般座席20人、車イス用スペース4人分。床面の高さは地面から30センチで、従来の車両より45センチも低く、2路線15電車停留所(電停)との段差は、わずか4センチ(うち4カ所は段差なしでスロープ化済み)。高齢者でも楽に乗降できる。さらに全電停で、車イスで乗り降りできるように順次、改修されることになっている。

同市では、市民団体「RACDA」(路面電車と都市の未来を考える会・岡将男会長)が95年10月に結成され、00年2月に同電車導入の募金運動などを展開し、実現に弾みをつけた。

一方、「在宅障害者の生活を考える会」の坂本会長と田尻議員は97年8月から、全国で初めて同電車を走らせた熊本市や、広島市で体験乗車し、市の関係者に早期導入を要望。市議会党議員団(山田勇団長)は、日笠勝之、福本潤一両参院議員とともに、国の助成を求める1万人の署名簿を添えて、国土交通省に陳情するなど粘り強く推進してきた。

体験乗車した坂本会長は「長年の夢がやっと実現した。後は早く全停留所で乗り降りできるようにしてほしい」と語っていた。

7月5日 MOMO営業運転開始



プラットフォームMOMOを表町商店街入り口に開店 (9月末まで)

7月6日 第1回RACDAゼミ開催

沖縄在住のエッセイスト・ゆたかはじめ (石田穰一元東京高裁長官)

RACDAゼミ趣旨

RACDAでは平成7年の設立以来、全国各地の仲間とともに公共交通を重視したまちづくり運動を展開してまいりました。超低床電車MOMOの導入に際しても、多くの市民の募金、助言、協力がありました。

MOMO導入を機にさらに皆様に最新の交通とまちづくり情報を提供するべく、今回から全国の著名な専門家、市民運動のリーダーをお招きして、まちづくりと公共交通について懇談する「RACDAゼミ」を開催することになりました。市民の皆様にも自由に討論に参加していただけますので、奮ってご参加ください。

講師予定

第1回はRACDA顧問、神戸の上川庄二郎さん（元神戸市消防局長）のご紹介で、沖縄県在住のエッセイスト、ゆたかはじめさん（本名 石田穰一、元東京高等裁判所長官）に「沖縄に路面電車を」と題して話題提起していただきます。ゆたかさんは鉄道のない沖縄に路面電車を走らせようと、活発に活動されています。

なお2回目は9月下旬にヨーロッパ環境交通クラブの代表においでいただくほか、2-3ヶ月に一度開催します。講師には以下のような方を念頭に交渉します。（略）

出版予定とテーマ

討論の内容はテープおこしをして、毎回冊子にまとめ、最終的には系統だった展開の一冊の本にまとめることができますと思います。仮称「日本でのLRT実現の課題」

各章のテーマについては、あらかじめおおまかに決めておいて、その趣旨にのっとって講演をいただき、講師にはレジメ作成と最終チェックをお願いしたいと思います。

テーマの例

LRTの法律的枠組み、LRTと財政、LRTと地方分権、LRTと警察行政、LRTと市民運動

LRTと環境対策

運営上の方針

会費は毎回500円程度徴収し、最低限会場代と資料代をまかなう

講師招聘費用については、毎回検討し、個別に採算を考える

懇親会については、毎回状況を考慮して行う

7月15日 第6回国会LRT研究会、路面電車ネットワークとの懇談会

8月9日 第2回RACDAゼミ開催「デザインで変わる公共交通と街づくり」

高岡短大産業デザイン学科助教授・武山良三

9月28日 第3回RACDAゼミ開催「地球環境と交通システムについてT&Eの主張」

VCS（T&E）スイス環境交通協会 シュミット・アドリアン 国際貢献サミットの一環

10月 岡電がMOMOで第一回「日本鉄道賞」大賞受賞、RACDAも評価



日本の鉄道開業130周年を記念して創設された**第1回「日本鉄道賞」**を岡山電気軌道の取り組みが「地方鉄道における活性化への貢献」部門として受賞した。表彰式が本日15日夕東京のHパシフィックにて行われる。

この賞は「鉄道の日」の趣旨である「鉄道に対する国民の理解と関心」を一層深めるとともに、鉄道の今後一層の発展を期することを目的として、本年新たに創られたもので、鉄道事業の発達、利用者の利便向上などに貢献した事業者や団体に贈られる。今年のテーマ3部門（環境対策、情報化、地方鉄道における活性化）に計58件の応募があり、岡電を含め計6社の取り組みが選ばれた。

日本の鉄道開業130周年を記念して創設された**第1回「日本鉄道賞」**を岡山電気軌道の取り組みが「地方鉄道における活性化への貢献」部門として受賞した。表彰式が本日15日夕東京のHパシフィックにて行われる。

この賞は「鉄道の日」の趣旨である「鉄道に対する国民の理解と関心」を一層深めるとともに、鉄道の今後一層の発展を期することを目的として、本年新たに創られたもので、鉄道事業の発達、利用者の利便向上などに貢献した事業者や団体に贈られる。今年のテーマ3部門（環境対策、情報化、地方鉄道における活性化）に計58件の応募があり、岡電を含め計6社の取り組みが選ばれた。

岡山電気軌道受賞理由

「地方鉄道における活性化への貢献」部門

【日本鉄道賞】：岡山電気軌道株式会社

（選考理由）

超低床式路面電車「MOMO」の導入と併せて、情報技術を活用した電車運行情報の提供、バリアフリー化の推進等を一体的に行い、さらに市民団体とも連携しつつ街づくりの情報等を発信するなど地域の発展に尽くした。

参考：他の受賞対象

「情報化への貢献」部門

【日本鉄道賞】：東日本旅客鉄道株式会社

（選考理由）

ICカードを活用した出改札システム「Suica（スイカ）」を導入し、切符購入の省略化、チャージ（入金）による繰り返し使用、乗り越し運賃の改札機における自動精算等、利用者に対して非常に高い利便性を提供することを実現した。

【日本鉄道賞表彰選考委員会特別賞】：小田急電鉄株式会社

（選考理由）

忘れ物を全駅で即座に検索できるシステムやインターネット接続携帯電話等から特急券を予約・購入しチケットレスで特急に乗車できるシステムを初めて導入し、利用者利便の向上に貢献した。

【日本鉄道賞表彰選考委員会特別賞】：津軽鉄道株式会社

（選考理由）

津軽の冬の風物詩として定着しているストーブ列車をはじめとして、季節毎に様々な趣向を凝らした列車の運行等を通じて利用の確保に努め、地方鉄道として地域に定着するよう長年にわたり努力を続けてきた。

「環境対策への貢献」部門

【日本鉄道賞表彰選考委員会特別賞】：日本貨物鉄道株式会社及び三岐鉄道株式会社

（選考理由）

中部新国際空港の建設に当たり、埋立土砂の一部について鉄道輸送を活用することによりモーダルシフトを実施し、CO₂、NO_x等の削減に寄与した。

10 年 19 日 「エコサミット in みやざき」にて会長講演

11 月 12 日 第 4 回 R A C D A ゼミ開催

エコロジスト・松本英揮 「地球のスライドショー」

11 月 23 日 日本鉄道賞をお祝いする会開催（みよしの）



2003 年 吉備線L R T化発表、路面電車ネットワーク、バスマップサミット

1 月 7 日 中公新書ルクレ「市民事業」取材 アウトドアライター・天野礼子（4 月出版）

1 月 28 日 バスマップ委員会第 1 回開催（委員長松田）

2 月 1 日 第 5 回 R A C D A ゼミ開催

岡山運輸支局 尾田和夫さん「おかやま I C カードをめざして」

2 月 15 日 路面電車ネットワーク設立シンポ（東京、環境自治体会議など構想）

会長が設立時に制度財源プロジェクトリーダーに就任

2 月 21 日 J R 西日本が吉備線と富山港線の L R T について発表、R A C D A にも取材

6 月 8 日 第 8 回路面電車の日・岡山駅前広場イベント

6 月 15 日 路面電車ネットワーク設立、会長は運営委員

7 月 5 日 カクテル電車、幹部会懇親会

7 月 6 日 R A C D A 総会、MOMO 登場 1 周年

7 月 15 日 路面電車ネットワークと国会 L R T 研究会の初会合

10 月 2 日 函館路面電車サミット参加 7 名（4 日まで）



斉藤副会長はパネラーとして参加



岡電磯野さんは全軌協代表として挨拶



10月10日 FCCフォーラム大阪「どうしてもできないLRT」議論

- ◆パネリスト1：路面電車と未来を考える会（RACDA）会長 岡 将男
- ◆パネリスト2：都市交通研究家 服部 重敬
- ◆コーディネーター：兵庫県 県土木整備部 交通政策課 主査 本田 豊

10月23日 バスマップ第4版発売（バスマップ委員会により完全再構築）



10月24日 宮崎の建築士会全国大会でLRT議論、会長基調講演

10月25日 まちづくり屋台村参加（ママカリフォーラム）

10月31日 まちかどバス停探偵団（足守小学校28名＋先生スタッフ17名）

探偵手帳をもとに、バス停、乗継を調査、後に学習発表会



11月7日 第6回RACDAゼミ 東大・原田教授



11月8日 第1回バスマップサミット岡山（岡山県総合福祉会館、100名）

路面電車とバスとは深い関係のある公共交通機関である。市民の立場からすれば、都市における両者は共働し補完すべき機関であり、競争機関であって欲しくない。

日本各地の都会ではバス会社多数が存立し、「自社のバス路線情報は印刷頒布はするが他社のは知らん」というのが多く、これでは乗客は「いつも乗るバス以外は使用しない」となってくる。

これを打破したのが1998年岡山RACDAが発行した「ぼっけえ便利なバスマップ」の創刊だった。これに刺激され各地の公共交通ボランティアが続々と自分の街のバスマップを作る動きになった。

広島市でも路面電車を考える会の友誼団体広島LRT研究会はバス部会を中心に「バスの超マップ」という路線図を2001年発刊し本年秋版は4版を数えている。

全国のかかる機運を察知して岡山市において第一回全国バスマップサミットが11月7日・11月8日両日行われた。（山根）

11月7日(金)	<p>●サミット直前ゼミ「市民が作り、支える公共交通の未来」(PART1) 講師：原田 昇氏（東京大学大学院教授） 〃 鈴木 文彦氏（バスジャーナリスト）</p> <p>●ミニエクスカーション「MOMO車中の懇親パーティ」</p>
11月8日(土)	<p>●基調講演：「市民がつくり、支える公共交通の未来」(PART2) 講師：原田 昇氏（東京大学大学院教授）</p> <p>●参加団体による各地の事例発表（発表順） 広島LRT研究会 山根 政則氏 松江まちかど研究室 田中 隆一氏 ふくい路面電車とまちづくりの会 林 博氏 岡山RACDA 石井 孝幸氏 仙台市 山中 隆行氏 千葉市 渋谷 秀行氏 名古屋市 伊藤 浩行氏 岐阜未来研究団 堀 達哉氏</p> <p>●パネルディスカッション：「バスマップ制作ノウハウを交換しよう」 コーディネーター：バスジャーナリスト 鈴木 文彦氏 サポート：東京大学 原田 昇氏 パネラー：広島LRT研究会 山根 政則氏 松江まちかど研究室 田中 隆一氏 ふくい路面電車とまちづくりの会 林 博氏 岡山・路面電車と都市の未来を考える会 岡 将男氏</p> <p>●大会宣言発表</p>

第1回 全国バスマップサミット 宣言

平成 15 年 11 月8日 岡山県総合福祉会館

路線バス、路面電車など市民生活の足となる公共交通の復権を果たすことを目標に、バスマップの制作をはじめとする手づくりの市民活動をすすめる私たちは、MOMOの走る岡山の地に集い、「市民がつくり支える公共交通の未来」について熱い討論を重ねた。その結果を次の通り宣言する。

- 一、 利用者の、利用者による利用者のためのバスマップづくりを全国に呼びかけ、交通市民運動の輪を広げる。
- 二、 継続は力なり。岡山で産声を上げたバスマップサミットの継続に労を惜まず協働し、交通市民運動拡大のための活動を粘り強く推進する。
- 三、 バスマップの表記・表現方法に工夫を凝らし、意見交換しながら、全国・世界の誰もが分かりやすく使いやすいバスマップづくりをめざす。
- 四、 過度に自動車に依存したわが国の交通を改善し利用者本位の交通システムをつくるため、行政、事業者、大学、専門機関等と協力し、市民（利用者）主体の調査研究活動に積極的に取り組む。
- 五、 次回全国バスマップサミットの開催を平成 16 年、福井とする。

平成 15 年 11 月8日 バスマップサミット実行委員会

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA の会）、 広島 LRT 研究会、岐阜未来研究団
松江まちかど研究室、RACDA（路面電車と都市の未来を考える会）



広島の本スマップ



松江の展示

11月12日 第481回建設技術講習会（全国）にて会長取り組み講義

11月20日 バスマップ寄贈式（岡山市教育委員会）

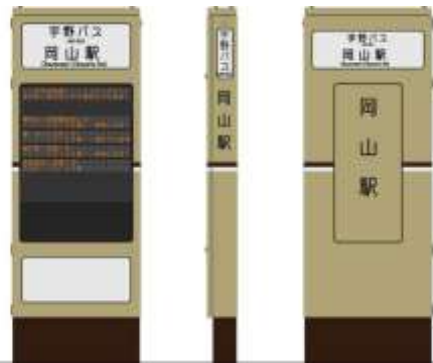


11月22日～24日 高岡、勝山、福井でリレーサミット（路面電車＋地方鉄道）
会長が3日連続で基調講演、パネラー参加



11月26日 RACDAの都市再生プログラムの具体化について連絡会議
行政関係者、バス事業者など31名が参加

12月14日 バスマップアンケート岡山駅前での調査（その他6000部）



2004 年 都市再生モデル調査、KURO、国会LRT議連

1 月 23 日 FCC サロン「どうしてもできない！LRT パート 2」

2 月 8 日より一般公募 都市再生モデル調査 公共交通乗り継ぎ調査開始
バスマップ 倉敷版 着手



2 月 17 日 国会LRT推進議員連盟発足（逢沢一郎会長、80 名余）



「LRT 推進議員連盟」発足についてのご報告

2 月 17 日、国会議員による「LRT 推進議員連盟」の設立総会が第 2 議員会館で開かれました。連盟への登録議員は 75 名、当日の出席者は 41 名、定刻 10:30 から開催されました。冒頭、逢沢会長（自民）より、これまでの「LRT 研究会」を新たに連盟に改組して発足する意義、その目的などについて挨拶がありました。

議事は、金田事務局長（民主）の司会ですすめられ、規約、活動計画の説明と採択、続いて役員の選出が行われ下記の議員が就任されました。

・会長 逢沢一郎（衆・自民）・副会長 佐藤謙一郎（衆・民主）・事務局長 金田誠一（衆・民主）

・幹事 牧野聖修（衆・民主） 照屋寛徳（衆・社会）

なお、「L R T推進議員連盟」（以下L R T議連と略）は超党派の運営を目指しており、副会長は3名体制として自民党より1名、公明党より1名を新たに選出、幹事は4名体制として、自民、公明より各1名の選出を急ぐとのことでした。

総会は30分程で全議案を可決し、そのあと関係省庁よりのヒヤリングが行われました。

都市整備局からは街路課、都市計画課、市街地整備課の各課長、室長が出席。国土交通省からは、他に道路局企画課、鉄道局財務課などより取組の現況等についてレクチュアがおこなわれました。今回は特に、警察庁長官官房参事官の参加が注目を集めました。

「全国・路面電車ネットワーク」（以下L R Tネットと略）は連盟事務局より出席の要請をうけ、岡 委員長、上岡副委員長、事務局長 内田がL R Tネットを代表して参加、岡委員長より「国政レベルで検討を要望する事項」について、6項目にわたる要請を詳細に説明しました。

総会終了後、佐藤副会長と「L R T議連」と「L R Tネット」との交流と協力を図ることについて協議を行いました。

なお、2月23日現在、連盟への参加議員の党派別の所属は、2月23日現在では以下のようになります。

・自民党 30名 ・民主党 37名 ・公明党 3名 ・社民党 4名 無所属1名

3月20日 RACDA 定期総会 都市再生シンポジウム

中村文彦教授 県国体局 島津氏 他

4月21日 国会L R T推進議員連盟第1回勉強会、横浜国大中村先生に依頼

同日、会長は岐阜市の路面電車存続支援に乗り出す

5月14日 J R西日本労働組合シンポジウムで吉備線L R T化を議論

5月22日 路面電車ネットワーク総会を岐阜で開催

5月29日 京都ローカルイニシアティブフォーラムで温暖化と交通について発表

6月3日 国会L R T推進議員連盟第2回勉強会

6月12日 第9回路面電車の日・岡山駅前広場でイベント





6月22日 国土交通省TDM実証実験懇談会参加

6月26日 第8回 RACDA ゼミ アメリカ・デンバーの公共交通の取り組み
RTD についての解説、講師レーニア ウイラー



7月2日 岡山市教育委員会にバスマップ贈呈式

7月17日 中部地区路面電車サミット参加

8月18日 丸善書店「鉄道フェア」協賛、講演と展示

9月16日 堺市シンポジウム「路面電車を活かした市民参加のまちづくり」会長基調講演

9月18日 第2回バスマップサミット福井参加7名（19日まで）

10月3日 RACDA瓦版創刊号発行、毎月第一日曜の京橋朝市で配布

10月19日 国会LRT推進議員連盟第3回勉強会

10月22日 第7回全国路面電車サミット高知参加（24日まで）

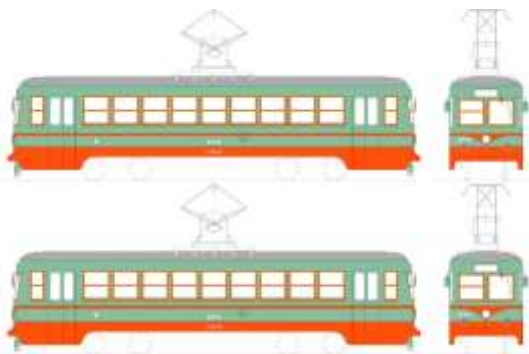
11月6日 第1回地方鉄道サミット（平田市）参加

11月7日 可部線サミット参加

4月21日 国会LRT推進議員連盟第7回勉強会（新潟市長）

4月28日 南海貴志川線再生に岡電参画決定、ネットワークの活動成果

4月29日 日光3000型お披露目（募金者招待試乗会）



5月12日 東京大学工学部にて会長講義「LRT推進からみた日本社会の課題」

5月13日 神戸商工会議所にて会長講演

5月18日 国会LRT推進議員連盟第8回勉強会（広島電鉄社長）

5月21日 RACDA総会

第10回 RACDA ゼミ「RACDA10周年に向けて」

第10回 RACDA ゼミ



テーマ「RACDA10周年の軌跡と課題」

RACDA10年の報告、路面電車環状化、吉備線問題の現状、交通実験、制度の進歩、LRT推進協議会、国会議連、環境問題とRACDAの活動、地球温暖化対策としてのLRTの意義、MOMOシミュレーションの説明、バスマップと県民おもてなし運動、日光塗色募金について

報告・討論「これからのRACDAの活動に向けて」
岡山運輸支局、岡山県交通対策課、岡山市交通政策課

6月12日 第10回路面電車の日・東山路面電車祭り



6月16日 国会LRT推進議員連盟第9回勉強会（車輛メーカー）

6月18日 大阪CASAにて会長講演

6月22日 吉備線一の宮地区出前公聴会第1回実施

ちょっと、熱心な小早川さんとお話を、ということで、岡さん、齋藤さん、田辺で一宮、西辛川の集会所？に行ってきました。

ちょっとのつもりでしたが、小早川さんが14人も地元の人を集めてくださっており、会議室で机をコの字型に並べて会がもたれました。町内会で役員をされている人も個人としての参加です。男性は元行政関係の人が多いようです。女性は小早川さんの奥さんも含めて5人参加されていました。小早川さんは吉備線LRT化の話がでてからずっとRACDAの動きをみておられたようです。ちゃんと新聞スクラップをされていました。

10時から始まって、1時間ちょっと岡さんがなぜ吉備線はLRTにするのがいいのか、高架化をめぐる国の現在の方針と地元のずれの話など、ビデオにして売ればいいような話をしました。ちょうどホワイトボードがあったので高架の長さと電車の登坂性能の話なども図を書いて説明できました。

後半は、きのうRACDAの会でも話が出た「出前公聴会」ぶっつけ第1回となりました。齋藤さんの進行で順番に皆さんの感想や意見を聞かせてもらいました。

そこで出た意見は...

- ・やっぱり駅が地元で駅が欲しい、歩いて（近くから）気軽に乗れるのが一番のメリット。（これはもう中鉄バスが減便で頼れないことと、西辛川地区は駅間の中間にあることから）
- ・一宮の連合町内会長の黒住さんは「こういう公聴会（説明と意見の場）を沿線あちこちで開いてほしい。やるなら総社方面まで巻き込んで合意をとっていかないと」
- ・これからは老人が喜ぶまちづくりを目指していくべきでは。
- ・もう少し市や県のサイドまで持っていかないと進まないのでは。
- ・主婦は一人で出かけられるようになるので大いに期待する。街なかに出かけるのが1回が3回になるかもしれない
- ・都会の便利なところから来たが、車の運転はできないので不便さに困っている。
- ・バスの本数が少ないので病院から帰る患者さんが1～2時間帰りのバスを待つことになり、困っている。（医療関係にお勤めの女性）

などがでました。それぞれに岡さんがコメントをしています。



小早川さんが「こういう勉強会をそれだけで終わらせず、一歩進めていく方向にして実りある会にすることが希望」と締められました。またこういう場を、という話になり、ワークショップをしたらいいのではと次につながっていきそうです。つぎは液晶プロジェクターを借りてきましょう。(2〜3人だと思っていました)(田辺・MLより)

6 月 25 日 全国路面電車ネットワーク会議宇都宮大会

6 月 26 日 交通権学会尼崎会議「福知山線事故の政

策的背景」会長発表

7 月 10 日 RACDA 瓦版を新聞折込(西川原地区中心)

7 月 12 日 香川県議会視察(公共交通対策特別委員会)受け入れ

7 月 20 日〜8 月 1 日 丸善「夏休み子供鉄道フェア」協力、模型展示



7 月 21 日 国会 L R T 推進議員連盟第 10 回勉強会(フランス・コプフ氏)

7 月 24 日 交通権学会富山総会にて「福知山線事故の政策的背景」会長発表



8 月 5 日 環境と交通世界会議(名古屋)、会長は環境省よりパネラー参加

8 月 6 日 全国まちづくり展・東京工学院大学、参加(発起人・会長など)

8 月 7 日 全国まちづくり展・日比谷公会堂 1000 人集会、参加

大の小泉嫌いの会長が、全国のまちづくり 17 人衆の一人として、壇上で小泉首相と握手し、思わず「頑張ってください」と言ってしまった、その模様が全国にニュースで流れ、翌日の郵政解散となる。「17 人と聞けば、18 人が気になる」と首相は挨拶。

8月21日 倉敷朝市にてバスマップ販売



8月25日 岡山市政令市推進協議会に参加

9月9日 出前公聴会第2弾、一宮公民館「路面電車（吉備線）を語る会

「また2回目を」と地元の方と予定していた吉備線の活性化についての出前説明会を一宮公民館で開催しました。1回目の時は町内単位でしたが、今度は学区単位で連合町内会さんから住民の皆さんに声をかけていただけるようになりました。というか、地元の方主導で、RACDAは「吉備線を路面電車化（LRT化）したらどのように便利になるか」また「その実現可能性は」ということの説明に招いていただいた形です。地元の方が大変熱心に準備をしてくださいました。

「何人きてくれるかなあ」と心配もしてくださいました。でも、開催時には午前中だというのにびっくりするくらいの方が話を聞きに集まってくださいました。70～80人ではなかったでしょうか。

こんなに参加してくださるとは。地元の方が吉備線の活性化について高い関心を持たれていることが伝わってきます。また、地元の方が主体になっての開催であるからこそ、これだけ多くの参加者がまったのでしょうか。



9月14日～20日 道の駅黒井山グリーンパーク鉄道展に模型展示

10月12日 川崎のフォーラム第二回会長参加

10月13日 神谷中国運輸局部長が新任挨拶で RACDA 訪問

11月3日 鳥取商工会議所中心市街地フォーラムで会長基調講演

11月5日～6日 第三回バスマップサミット 6名参加

開催地団体のまちかど研究室さんからの連絡によると、すごいことになっていて参加者は、松江市内はもちろんのこと、札幌、盛岡、仙台、新潟、東京、名古屋、岐阜、福井、石川、鳥取、岡山、広島、兵庫、京都、大阪、香川、北九州、沖縄にまでなっているそうです。どんどん参加が増えますね。3回めで本当に「全国」サミットになりました。

11月6日 路面電車ネットワーク第三回フォーラム会長参加

12月1日 商工会議所まちづくりフォーラム、斉藤副会長が欧州LRT視察報告



12月21日 岡山版バスマップ第6版発売

今度のバスマップはバス路線案内を方面別に配置しています。バス乗り場を「方面別に」という声がありますが、バスマップでは先に実現した形になっています。また、岡山市と合併した旧御津町も掲載エリアに加わって、前の版以上の広い範囲をカバーできています。自治体関係して運行している福祉バス・コミュニティバスもバッチリ掲載！ ここにもバスが走っていたか、と驚いてください。あと6つの企業・団体さんから協賛をいただいています。この企業・団体さんは地図上では（特典として）赤文字で表示されています。



紀伊国屋書店岡山クレド店（写真許可済）どうです、地図コーナーで全国ブランドの地図と肩を並べておもいきり自己主張している新バスマップ岡山版。こんなにずらりと並べてもらえるとは。「これさえあればどこへでも行けます！！」というポップもお店で作ってもらえました。やっぱりお店の人はこういうのを作るのうまいです。バスマップは他にも店内何ヶ所かに置いてあります。

「おや、こんなのがある」「100円じゃないか」というように目に入ったお客さんに買って欲しいものです。他に天満屋バスステーション地下の「精文堂」書店でも新バスマップの販売が始まりました。倉敷版もあります。

2006年 吉備線LRT化に向け署名開始、富山ライトレール、和歌山電鉄

1月10日 バスマップ東京書泉グランデで取り扱い開始



RACDAのバスマップを手に入りたい、という東京周辺のみならず、千代田区神保町の「書泉グランデ」で取扱っていただけることになりました。すでに店頭が発行間もないバスマップ岡山版6版と倉敷版が並んでいると思います。ぜひご利用ください。岡山現地価格と変わらず一部100円。

1月11日 路面電車ネットワークフォーラム

1月18日 鉄道技術シンポジウム（川崎）

2月1日 岡山駅前広場路面電車乗り入れの署名活動開始 京橋朝市にて



かなり突然と思われるでしょうが、RACDAは今日の京橋朝市から署名活動を始めました。路面電車の岡山駅前広場乗り入れと路面電車の環状化を求めるもので、市民の声を岡山市に届けるためです。

突然始まったようですが、署名趣旨文の作成、看板等の発注など今日からの開始に向けてそれなりに準備していました。ただ、本当に「今日」から始めることができたのは良かったです。署名用紙に載せられている趣旨文の検討は前夜まで続いていたのです。

朝市会場では295人の方から署名をいただきました。「駅前乗り入れと環状化のための署名を...」との声を聞いて、わざわざ引き返して来て署名して下さる方も多く、大変寒かったのですが嬉しい思いでした。

多方面からの署名を集めて「今度こそは」です。今回、署名集め用に立て看板や横断幕を揃えました。これまでになく立派なものです。逆にそれらの道具がボロボロになるまで署名集めの活動が続くかもしれないとも感じるのです。MOMO電車が導入される前に行った署名活動の時は10万人弱の方から署名を集めたのですから。

岡山駅東口乗り入れを 乗客減少の路面電車 初の1万人割れ（04年度1日平均） RACDA 利便向上へ署名集め（山陽新聞2／5朝刊記事）

地球温暖化対策や都心活性化につながるとされる路面電車の利用減に歯止めを掛けようと、岡山市の「路面電車と都市の未来を考える会（RACDA）」は5日、同市中心部を走る岡山電気軌道（岡電）のJ R岡山駅東口乗り入れや環状化を訴え、署名活動を始める。

岡電によると、軌道は2路線、4.7キロあり、1日当たりの利用客は2004年度は9655人。前年度の1万99人から4.4%減り、近年では初めて1万人を割った。平成に入って、1991年度の1万2659人をピークに減少。超低床電車「MOMO」の導入効果で03年度は増加したが、再び落ち込んだ。

1日2万人前後が乗った30年前のほぼ半分。マイカーの利用増に加え、岡電の磯野省吾専務は「中心部の空洞化が最大の原因。バスなど他の交通機関の客足も減った」と話す。

J R岡山駅への軌道延長、駅前から市役所方面への路線新設による環状化は、利便性向上へ、商工団体やRACDAが長年主張してきた。

とりわけ現在の岡山駅前停留所は、J R駅から約200メートル東に離れ、駅からは横断歩道や地下道を通らないといけない。週に1、2度乗るという同市内の主婦（76）は「ひざが悪いので階段の上り下りがつらく、もっと乗り場が近ければ」と話す。

岡山と似た高知市の路面電車は、J R駅から約200メートル離れていた停留所を01年4月に駅前へ移設。営業する土佐電気鉄道によると、同停留所の利用が25%ほど増えた。事業費約3億5500万円は同社と国や県、市の分担という。

岡山の場合、岡電によると費用は2～3億円。RACDAの岡将男会長は「郊外からバスや列車で来た人を市内に運ぶのが路面電車の役目。利用が増えれば中心部の空洞化が止められ、税金を投入して延伸すべきだ」とする。署名活動では、6月末までに10万人分を集め、高谷茂男市長に提出する。

これに対し、同市交通政策課は「市民の“足”を公共交通へ移していくことは重要だが、乗り入れによる地下街への騒音など影響が調査されておらず、議論が必要」と慎重。

岡山大経済学部の中村良平教授（都市政策）は「大きな事業だけに、トップダウンによる推進が求められ、場合によっては財界などの支援も必要。路面電車単独よりも駅前の再開発と合わせての整備が効果的」としている。

2月2日 国会LRT推進議連勉強会 ソウルのBRT、議員26名

2月8日 スカイパーフェクトテレビ取材



2004年度に初めて1日平均利用客数が1万人を切った路面電車。後ろはJ R岡山駅



2月10日 FCCサロン「どうしてもできない日本のLRT第3弾」会長パネリスト

各都市の比較、中心市街地の衰退と連動する路面電車利用者の状況が判明

2月11日 駅前電停にて署名活動開始、以後毎週土日を中心に継続



岡山駅前電車乗車ホームで13:00から16:00まで街頭署名活動をおこないました。なかなか署名を集めるのはタイミングが難しいですね。電停なのだから、署名のテーマとぴったりの場所なのですが、電車がホームに停まっているのを見ると、いつ電車が発車するか分からないので、電車のお客さんはとりあえず足早に電車に駆け込んでしまう。そこは電車が出払っている時に、待ち時間を使って書いてもらう。岡山の電車は5分おきに来るので、これはやっぱりすごいことですね。もっと便利に利用しなきゃ。不案内な人は電車を選ぶよう

です。自分も大阪や東京(ずっと行っていませんが)に行ったら、地下鉄などの電車系の乗り物を使おうとしますね。電車のりばのちょうど入り口にあたるところの屋根を、よくお客さんが見上げておられます。ここには電車路線の絵入り案内図が描いてあります。みなさん、案内図を頼りにされています。ですが改めて見てみると、文字が褪色して肝心な駅名や「案内図」との表示がほとんど読めない状態でした。地元で利用する人は、キョロキョロ案内図を探す必要もないし、困らないですけどね。分かりやすい、安心感のある乗り物として、駅の改札からここまで歩いて来て、電車に頼ろうとされているのですから、それに応える乗り場であることが求められます。

2月17日～20日 公明党はじめ、市議会各派有志にLR T化の現状についてレクチャー

3月15日 第11回RACDAゼミ 松本さんの講演

エコロジスト 松本英揮さんによる地球のスライドショーの開催風景をお知らせします。松本さん持参CDの音楽が流れるなか、スライドを見ながら、松本さんの静かで、訴えかける、そして実際に「そこに行って来た人じゃないと話せない」語りにみなさん、じっと耳を傾けたのでした。



3月16日 国会LRT議連勉強会、国交省予算報告

3月22日 国会にてLRT法について第一回各省合同ヒアリング

路面電車ネットワークで進めてきたLRT法について、国会議員LRT議連幹部、各省（国土交通省、警察庁、総務省、環境省の課長クラス）との調整会議、会長は運営委員長として挨拶。RACDAが進めてきた全国ネットワーク化の最終局面がようやく具体化した。

4月1日 南海貴志川線、和歌山電鉄としてリニューアルオープン

4月3日 瓦版にて岡山駅前広場乗り入れRACDA案公開



4月10日 岡山市議会都市活性化調査特別委員会にてレクチャー

RACDAは岡山市議会都市活性化特別委員会の懇談会に呼んでいただきました。この委員会は市議会議員12人で構成されていて、公共交通に関する調査等をされています。路面電車について「現状はどうなっている?」というような会でした。会長がひと足先に開業する富山の路面電車新設線についてや、いまなぜ路面電車が求められているのか、岡山駅前広場への乗り入れ構想、JR吉備線への接続構想についてプロジェクターを使って委員会の皆さんにお話しました。

会長の説明の後、議員さんから「反対する人はいないし、なんで早いとこやらないのか議員みんな思っていた」という話がでて、『じゃ、なんでできないのか』こちらにも不思議な気持ちになってしまいました。それなら、岡山で路面電車のレールが伸びる日は近いのか。

4月12日 国会にてLRT法について第二回各省合同ヒアリング 各省庁意見出揃い

4月26日 LRT推進議員連盟勉強会、運賃収受について須田東大教授

4月29日 富山ライトレール、日本初のLRT化開業

5月13日 倉敷版バスマップ第2版発売



バスマップ倉敷版の新版(2版)が完成しました。近日中に RACDA バスマップ取り扱い店に並びます。今度のバスマップもすごいです。広域マップのエリアは倉敷市周辺にとどまらず、西は笠岡、県境を越えて広島県福山市の東部まで、北は高梁市の吹屋の方まで本当に広範囲に公共交通が収録されています。「成羽町医療バス」という存在、知っておられましたか？ このバスマップにはでていません。そういうかなりローカルな交通機関も路線調査がされています。その詳しさは実物で体感ください。



玉野市に加えて、井原市、笠岡市、高梁市の中心部の拡大図も収録しました。

また、新しい試みとして主要観光施設の開館時間や料金などの情報を盛り込みました。新しい使い方・可能性が広がっていきます。←新採用の観光施設情報(全部見せたいところだけど...)

5月14日 堺で市民のシンポジウム 会長パネリストとして参加

5月21日 RACDA総会 NTTクレドウィズセンターにて

東大吉村先生のMOMOシミュレーションも完成が近づき、再度RACDAゼミとして開催しました。



5月24日 LRT推進議員連盟勉強会

6月11日 路面電車の日イベント 岡山駅前広場で開催 吉備線LRT案大発表



前年はＪＲ尼崎の事故があり、駅前での開催を自粛しましたが、今年は吉備線ＬＲＴ化の実現のため、駅前広場で開催。上の写真で和氣市議が見ているのは吉備線の路線図の駅の位置、ダイヤです。この数日後の市議会でこのイベントを取り上げ、「岡山市が吉備線ＬＲＴ化の素案を作る」との答弁を引き出すのです。



駅前乗入の署名も継続



東大吉村ゼミのMOMOシミュレーションも参加



無料のカフェをやってもらいました
アンケートはバラの花で表現



超党派の国会議員、県会議員が乗ってます
レールの位置表示に駅名票まで作ってしまいました



路面電車まつり i n 駅前広場で行った「路面電車の日 200人に聴きますアンケート」の会場集計結果

問1) 路面電車の駅前広場乗入れ賛成ですか? 賛成 179人 反対 4人 よくわからない 13人

問2) 吉備線の路面電車化は賛成ですか? 賛成 132人 反対 8人 よくわからない 54人

問3) バスの方面別乗場について賛成ですか? 賛成 143人 反対 9人 よくわからない 40人

7月8日～9日 富山ライトレール視察(斉藤、上川、石井、土森)

7月30日 一宮桃太郎フェスティバルにて吉備線LRT化署名開始

「第14回びぜん一宮桃太郎フェスティバル」に吉備線LRT化のPRということで参加させていただきました。地元町内会さんのご好意で開催直前にもかかわらず、参加の許可をいただくことができたものです。

当日は吉備線沿線の4つの連合町内会が行う吉備線のLRT化を求める署名の開始日で、会場でも中山学区連合町内会さんが入りロゲート近くのテントで署名を集めていました。RACDAはかわら版の8月号の発行日を早めて、フェスティバル会場で配布してもらいました。もちろん、吉備線的话题を特集テーマにしています。



8月6日 第一回貴志川線祭りに有志参加



住民運動で廃線の危機を逃れた和歌山のわかやま電鉄貴志川線で8月6日に貴志川線運営委員会主催の「第1回貴志川線祭り」が開かれました。貴志川線のシンボル電車である「いちご電車」グランドオープンでもあり、和歌山電鉄株式会社設立の一周年記念でもあります。RACDAのメンバーが当日会場を訪れています。お祝いでもあり、まつりの見学でもあり、イベント手伝いでもあり、「いちご電車」が見たい、というのがあります。メンバーがカメラに収めてきた写真をご紹介します。

写真のとおり、いちご電車の床は木でできています。ブラインドもすだれ様式。写真には写っていませんがまだ他にも自慢のづくりがいろいろあるようです。岡山からミニMOMO電車も出張応援をして、賑やかな会場となったようです。訪れたメンバーの感想は「手作り感いっぱいのイベントだった」というものでした。このお祭りの目的は新生貴志川線の発足を祝うとともに、路線の永続的な継続をめざして地域の皆さんに理解と親しみを一層深めてもらい、利用促進をアピールすること、だそうです。3枚目の写真の‘のぼり’には「もっと！ずっと！ 貴志川線」という文字が見えます。多くの人に支えてもらえて良かったですね。

8月5日～6日 全国都市再生まちづくり会議・東京

東京で開かれた全国都再生まちづくり会議2006においてのポスターセッション(展示?)で RACDA は交通部門賞がもらえました。賞状の文面を見るとえらく褒めてくださっています。RACDA はまちづくり団体ですからねえ。

8月9日～21日 丸善鉄道フェア、鉄道模型展示

表町商店街内の丸善表町ギャラリーで「親子で楽しむ鉄道フェア」。今年で3回目です。



会場入り口 広くなった会場に鉄道関係グッズ、資料、パネル、プラレール、その一角に RACDA も



RACDA のグッズ、旧版のバスマップも資料、研究用。MOMOが走る模型の街、奥にはKUROの姿が。

8月10日 国交省、LRTの導入促進へ支援拡充ー軌道関連にも適用 新聞報道

国土交通省は次世代型路面電車システム（LRT）の導入や既存路面電車の設備改良を促すための補助金制度「都市再生交通拠点整備事業」を拡充する。同事業はLRTと既存路面電車の設備のうち架線柱、シェルター（停留所の屋根）、バリアフリー化など停留所の整備に適用が限られていたが、07年度からは、公設民営の整備事業については適用範囲を軌道関連などにも広げる方針。

LRTは低床型で乗降性にすぐれ、他交通機関との乗り換えが容易になるなどの特徴を持つ。鉄道に比べ工費が安く、工期も短いほか、都市開発やまちづくりと一体での整備が可能な新交通システムとして普及が期待されている。

今年4月に富山市の富山ライトレールが開業したほか、堺市、宇都宮市など各地で導入の動きが活性化している。国交省では支援制度を拡充することで、こうした動きを後押ししていく。

富山ライトレールの成功を受け、国交省もLRTに数値目標を設定し、財務省と交渉しているようだ。また国会LRT議連のLRT法制定の動きも影響している。

8月16日～21日 高島屋わくわくレールランド、会長鉄道模型展示



RSKでも番組として、RACDA全般や吉備線LRT化とからめて放送されました。

9月19日 埼玉大学学生視察



埼玉大学のゼミ旅行のみなさんがRACDAを訪ねて来られました。「交通関係の活動をしている団体を知りたい」ということで勉強に来られました。RACDAのことはインターネットで知られたそうです。会長の脱線ありの「なんでも話」もいい思い出になったと思います。旅行4日目の最終日で疲れたかな。

9月24日 RACDAホームページブログのコラム

地元紙、山陽新聞(9月23日)の読者投稿欄「ちまた」に大阪の学生さんが、岡山の路面電車MOMOを褒めてくれる意見を書かれています。新しい路面電車が世界中で見直されていることもご存知のようで、超低床電車が誰にでも優しいこと、それはその土地を訪れる旅行者にも優しいと述べられています。MOMOも旅行者が魅力を感じる場所、訪れた街の「個性」を演出するキャストになっているようです。MOMOが「地域でしっかり愛されている印象」を受けたとのこと。

この方は大阪の地下鉄を話題に出されます。「段差も多く、乗り換えも複雑で旅行者は戸惑う」「景色も見えない」と。そして「大都会も地方都市を見習うべき点がある」と、結ばれます。

久々に多方面のいろいろなことを考えさせられる投稿でした。

この方は地方都市岡山に来て、大都会大阪に無いもの(その街の個性)を見て、路面電車のある街・岡山をうらやましく思ってくれたのでしょう。大都会のまねをすれば魅力ある街になるのではないとも示唆されていますし、実際に大都市に住んでいる人も利用しやすい交通機関として地下鉄がベストではないと思っていることも分かります。大都市で実際に使っている人はその不便さもよく分かっているのでしょう。大都会から来た人が路面電車MOMOを見て「あんな乗り物が欲しいなあ」と思うのに、なぜ地方都市の人は地下鉄やモノレールを欲しがるのでしょうか。地下鉄やモノレールがあると大都会の仲間入りをしたようで「格好いい」からでしょうか。でも地下鉄やモノレールは作るのに大変なお金がかかり、乗り降りも不便だけど、大都市の人が「もうしょうがない」と思って選んだ乗り物なんではないでしょうか。

捌ききれない程の人の移動(集中)と、少しの余裕も作れない道路交通、手を付けられない程の地価の問題がなければ、何も無理をして地下や、上空に乗り物を走らせなくてもいいわけで、本当は大都市でも「地上からすぐ乗れて」駅の配置など「柔軟性のある」乗り物が欲しい。でも、「うちは大都市だからなあ...しょうがない...」「車の置き場所もない」

これは「ああ、ペットが飼いたいなあ...、でもうちは集合住宅だからなあ」と我慢をするのに似ている気がします。じゃあ、まだ余裕がある岡山の「一軒家」に住む人は? 都会の人に笑われない、魅力のある街を作らないと。。。

10月1日 IC乗車カード「Hareca」開始

10月7日 堺市LRTセンター一行がRACDAと岡電視察



大阪・堺市のさかいL R T研究交流センターからメンバーのみなさんが大勢、岡山を訪問されました。どうも広島を訪ねての帰りに寄られたようです。滞在は短い時間で、MOMOに乗る予定も入っていて、会長の岡さん、岡電の人からの話も40分程できりあげてのスピード視察でした。せっかく30人以上で来られたのだから、もう少し交流したかった気がします。

10月15日 岡山駅橋上駅舎オープン 路面電車電停と改札の距離拡大、駅前乗入に拍車



サンステ内に簡単なバスマップなども掲載された

サンステのセルバでもバスマップ販売中

10月19日 オムニバスサミット・岡山に参加



岡山コンベンションセンターのママカリフォーラムで全国オムニバスタウンサミット in 岡山が開催されました。主催は岡山市さんで RACDA は特に関係していませんが、行政機関からまとまったバスマップの注文があったりしましたので、オムニバスサミット参加の方には何かいいことがあるのかもしれません。RACDA にはちらしがなんでだか一枚だけありまして、それによると13時からの開催で基調講演や施策報告会がありました。その他関連イベントとしてパネル展やバス車両の展示、物産展などが行われました。

会長は国土交通省の自動車交通局長、中国運輸局長と懇談しましたが、彼らはMOMOの試乗も行いました。

10月20日～22日 第8回全国路面電車サミット IN 長崎 2006

長崎は公共交通が頼りにされている、活気のある街でした。中心街は夜10時を過ぎても人通りが多く、次から次へとやってくる路面電車は昼間と変わらずお客でいっぱいです。人の流れを見ていると、とても45万都市には見えません。岡山は67万都市になっていますが、賑やかさ、活気で長崎に負けているのではないのでしょうか。負けていると思った。本来の中心街って、これくらい人通りがあるものなのかな。



11月1日 路面電車ネットワーク討論集会 「公共交通の運賃収受について」

11月4日 全国鉄道まちづくり会議・加西市大会

11月5日 京橋朝市・ワンコイン電車



朝市に合せて11月のかわら版もできました。かわら版は「予想外」の3年目に入りましたが、作成側としてはいつ発行に穴が開いてもおかしくない、ヒヤヒヤした状態が続いています。A4用紙の表裏の紙面でも毎月出すのはけっこう大変なんです。無理をせず、続けていけばいいと思います。穴が開いても……。また続けていくのであれば、だけど、一度穴を開けると「出さなければ」という気が薄れてしまう。それが怖いので発行日(朝市の日)前には無理してます。それを続けて今回28号。今回も朝市で配れました。あ、朝市で駅前乗り入れ・環状化の署名活動、継続してやってます。

11月の朝市には路面電車の臨時停留所が設置されます。岡山市の商店街の大誓文払いイベントに協賛してです。臨時停留所とは言っても、上り、下りそれぞれの乗り場に複数人の駅員さん？がいる豪華版です。いつもは停留所がない場所に「今日だけ設置」ということになる、やっぱり安全確保が大変なんだろうね。もし事故がおきたら、臨時停留所の設置などもうできなくなってしまう。臨時停留所の駅員さん、お疲れ様です。

朝市ではこの時期恒例のイベント、ウォークラリーが行われました。3枚目の写真はゴールをして、参加者の獲得点発表の様子。みんな楽しそうでした。出発時にあった付近の出店テントはもう片付けられています。

11月19日 一宮福祉まつり



11月19日は吉備線沿線の一宮地区、高松地区で同時に地域のお祭りがありました。RACDAは無理を承知で2つのイベントに参加し、ブースを設けPR活動をしてきました。スタッフの人手が足りません。

せっかくのお祭りなのに雨になってしまい、残念でした。ブースでは今回のまつりに合わせて作った新駅を記入した吉備線沿線地図や路面電車化した時の想定駅時刻表などを展示しました。

RACDAのPRテントにはいろいろな人がみえられ、この地域では町内会が吉備線路面電車化の署名活動をしているので、みなさん路面電車化のことはご存知でした。「早く作ってほしい」、「いつできるん？」という声が多数でしたが、「新駅ができて岡山駅までの時間が少しでも余計にかかるのならば、反対だ」とはっきり言われる人も。電化をして複線化すれば列車の加速が良くなり、所要時間が伸びることはないと考えているのですが。

じゃ、仮に3分でも遅くなったとして、これまで駅と駅の間でほとんど吉備線が使えなかった人たちが楽に岡山の街に出てこれようになった喜びは考慮されないのだろうか。全体の利便性が最大になるところを目指して計画を立てるのがいいと思うのだけど。「これまで通りだが30分待たないと乗れない電車」より、「3分遅くなったが15分待てば乗れる電車」のほうがいいと考えるのですが。。。

こういうことをどうやって分かってもらえばいいか...

12月9日 おかやま食と農のまつり・エコウェーブ



岡山ふれあいセンターで行われた食と農まつりに参加しました。11時から15時まで4時間のイベントでしたが、会場は新鮮な野菜、手作りの食品等を求めるお客さんで大変な賑わいでした。外国の映画で見る市場のような陳列で野菜が売られていました。野菜のほかにも手作りパン、みそ、手芸品、かも汁、いろいろありました。

会場内で行われたミニ講座では岡会長が公共交通について話しました。同じく会場に設けられたRACDAブース。駅前乗り入れ、環状化署名かわら版の配布。バスマップ、RACDAが出した“名著”『路面電車とまちづくり』、絵はがきなど販売しました。入会希望者も得られたとか。

12月22日 一宮公民館公開講座にて、井上会員の講演

2007 年 地域公共交通活性化再生法成立

1 月 31 日 吉備線沿線 4 連合町内会、署名を市役所などに提出、RACDA コージネート



署名用紙の束の前が高谷岡山市長。取材班は「写真記録係」をやらせてもらい、何枚もシャッターを押しました。テレビの取材に答える中山学区連合町内会の黒住会長

吉備線沿線の人々が集めた署名を市長さんに手渡す日がついにきました。吉備線沿線の 4 つの連合町内会（中山・鯉山・加茂・庄内学区）の会長さん、それに、独自に署名を集められた済生会病院関係の方々が市長室を訪ね、高谷市長に署名の束（計 1 7 2 2 0 人分）と要望書を手渡しました。4 人の会長さんたちはそれぞれの学区の特性に合わせて吉備線の路面電車化の必要性を訴えておられました。

市長さんにはこやかに耳を傾けてくださいました。商工会議所内で計画が検討されていた頃の話もされていました。今日届けた住民の声をしっかり受けとめて下さったと思います。

市役所のあと、みなさんは県庁、J R 岡山支社を訪ね、「J R 吉備線 L R T 化の早期実現を求める要望書」を提出されました。今日の模様は早くも山陽新聞夕刊にカラー写真付きで載っています

2 月 10 日 和歌山交通まちづくり会議開催、参加

2 月 17 日 かえっこバザール参加



岡山ではたぶん初めての開催だろうと思われる子ども向けイベント「かえっこバザール」に参加してきました。遊ばなくなったおもちゃを持ち寄り、かえっこポイントに替えて他の子が持ってきたおもちゃと交換をするというイベントで、ポイントは「かえっこバンク」で通帳にためられます。会場では NPO が用意した様々な体験ができて、体験に参加すると、そこでもポイントがもらえます。RACDA はその NPO のひとつとして参加しました。

子ども対象としたイベントというのはこうなのか、と勉強になりました。カラフルな主催者スタッフの帽子。本部にもぎやか。

RACDA は公共交通クイズ、MOMO 塗り絵、バスマップ読み取り実習を用意しましたが、小さい子どもが多かったので、塗り絵が一番良かったようです。

イベントの最後にちょっと良さそうなおもちゃのオークションがありました。使えるのは例の「かえっこポイント」のみです。どこかの家のどこかの子が飽きてしまったおもちゃでもこういう場に持ってくるとまた光があたり、値うちものになります。ポイント長者が競り落として、とてもうれしそうにおもちゃを受け取っていました。このシステムはとてもいいと思いました。岡山でもだんだん知られていくでしょう。

2月21日 国会LRT推進議員連盟、LRT法の経緯説明

3月3-4日 第4回バスマップサミット・仙台に参加



3月13日 山梨大学教授助教授の団体がRACDA視察、意見交換

3月28日 岡山弁護士会にて環境問題とLRTについて会長が講演

5月18日 国会において地域公共交通活性化再生法成立



今日、新聞各紙で取り上げられている「地域公共交通再生法案」についてその背景、過程をRACDA岡会長にまとめてもらいました。LRTをめぐる全国の動きをまとめたリストは昨日RACDAに最新の数字の問い合わせがありました。事務局から最新リストを急いで送信しました。

*** *** ***

国土交通省の「地域公共交通再生法案」について、解説しておこう。

欧米のLRT建設の流れは、1987年頃からはじまり、1997年時点で60都市にもなっていたが、日本ではようやく1997年に「路面電車走行空間改築事業」の創設により、道路特定財源を流用した、道路渋滞緩和のためのLRT整備が始まったにすぎなかった。

1997年の第3回路面電車サミットはRACDAが中心となって岡山で開催されたが、この時に一市民団体の主催でありながら、当時の建設省、運輸省の正式な後援をいただいたのは、LRTの整備には市民の合意が不可欠であり、彼らもその事に気づいていたからに他ならない。

一方我々市民運動側でも、L R T整備には制度と財源、つまり国の積極的関与が不可欠と気づいていたのである。

その後R A C D Aでは岡山での路面電車市役所延伸が具体化したものの、その過程で車輛補助制度が不十分であり、なおかつ国だけでなく市町村の主体的関与が不可欠だと感じた。そしてそのためには全国的な市民運動による支援活動の必要も感じたのである。

丁度この頃、万葉線の廃止問題に悩む高岡市から、市民運動創設の依頼があり、R A C D A高岡が設立させる。さらにここからR A C D Aとしては各地の運動を支援するなかで、全国的ネットワーク形成を図る。

さらに一方で会長の個人的関係から、1999年にはJ R 西日本のトップと富山港線や吉備線のL R T化が議論され、岡山電気軌道とJ R 西日本の勉強会に発展していく。ここでわかったことは、人件費と労働条件によって、鉄道会社の収支はかなり違うということだ。

2002年の岡山のMOMO導入を契機に道路構造令の中で路面電車がきちんと位置づけられた。各地でL R Vの導入が相次ぎ、さらに富山ライトレールへとつながっていく。

岐阜での路面電車存続運動は現在のところ廃止という結果になったが、高岡万葉線、福井えちぜん鉄道の存続運動は、全国のL R T推進団体などによる支援で結実し、その地方鉄道を含めた存続の運動は、L R T新設運動と合体して、地域の公共交通を復活させようという流れになった。南海貴志川線が岡山電気軌道によって「わかやま電鉄」として再生できたのも、こうした市民運動の全国的展開と、国県市事業者のスクラムの結果なのである。

さて岐阜を契機に発展した「全国路面電車ネットワーク」では、国会の「L R T推進議員連盟」とタイアップして、「L R T法」の制定を目指した。これは既に法案として、国土交通省、警察庁、環境省、総務省などと協議を終えていたのであるが、一方で国土交通省では地域の公共交通を支援する法律の制定に動いたのである。

運輸部門の規制緩和以来、赤字地方ローカル線の廃止が止まらず、どうにかこれを止めようというところから発想されたもので、我々としてはこの流れ自体は歓迎するものの、L R T推進という観点からはやや弱いものであった。そこでL R T推進議連から国交省宛に、我々と一緒に作ったL R T法案を添付した上で、L R T建設推進を強化してほしいむね要望をしたのである。

今回の法案では、上下分離、交付税措置、地域協議会といったところがポイントである。あとは余った道路特定財源が地球温暖化対策などの観点から年間500億円程度まわっていけば、日本でもL R T整備が爆発的に進んでいくのではないかと。

なお全国63の取り組みという報道の内容については、R A C D Aの作成するリストに基づいている。富山のような既にL R Tとしてできた話から、淡路島の高校生がL R T整備を提言したというもので、まさに玉石混交ではあるが、小さな運動が大きな市民運動になるかもしれないのだから、どんな小さな市民の提言でも取り上げできた。リストでは富山のAAAから岡山、宇都宮、堺、福井などのAA、取り組みが具体化したA、行政の調査費がついたB、構想だけのCに会長の主観で分類しており、B以上は29件24都市、全体では63件58都市となる。

R A C D A会長 岡将男

5月27日 R A C D A総会、商工会議所吉備線プランの発表



お天気にも恵まれ、70人近い参加者の方をお迎えして、2007年度総会、そして、同時開催イベントの「吉備線路面電車化報告会・討論会」を開くことができました。総会後の「報告会・討論会」については新聞に予告記事が出たこともあって、事前の問い合わせも多く、来場者を見て机と椅子を追加しました。

「報告会・討論会」では岡山商工会議所の若林副会頭が RACDA も初めて聞く吉備線の路面電車化ルート案を発表されました。若林さんはおもしろおかしく説明をするのが上手な方です。しっかりした資料を用意され、笑いをとりながら、「こんな案はどうだろう」と説明されました。

後半では若林さん、岡電の磯野常務、吉備線沿線に住む小早川さん、岡会長、斉藤副会長がステージに並び、それぞれの立場から夢と実現への方策について語ってもらいました。筋書きがなく、好きに言ってもらった感じがですが、こういう公開された議論の場を通して計画が理解され、前に進んでいくのだと思います。

楽しい若林さんの発表。「コウカ（高架）よりコウカ（効果）がある。」ワハ てな具合

6月10日 路面電車の日イベント、岡山駅前広場





路面電車まつりの定番、ミニMOMO電車はいつも人気です。駅前広場に設けた RACDA テントの壁面に貼られたパネル展。よく展示物の用意が間に合ったものです。人生80年のうち30年は車を運転できないことを紹介した展示もあります。このあと予想もしない午後の雨で紙の展示はボロボロになるのです。テント内ではLRTの鉄道模型の運転を行いました。岡山駅改装工事のため駅から電源が引けず、発電機を持ち込みました。



東山会場は路面電車の終点ですから、駅前あたりから「もちろん電車に乗って」来てももらわなければいけません。そのためにはわざわざ訪ねて行くくらいの何か「珍しくて面白いもの」がなくては…、ということで考え付いたのが電車流しそうめん。アイデアはいいのだけど、それを実現するには大変です。「そんなことができるのか」当日、竹の水路をそうめんが流れ、お客さんが楽しんでいる様子を見るまで、安心できませんでした。なにしろ、「世界初」のことですから… いまのうちに特許とらなきゃ。

岡電さんに「古いタイプの日光塗装電車を使わせて」とお願いしました。の緑と色がよく合います。当日、そうめんコーナーは6人体制で、ゆかたを着てムード作りです。友情出演、お世話になりました。RACDA だけじゃ、とてもできませんでした。電車車内からはこんな感じです。ホースを持ち込むというのが、もう、無茶でしょ？お客さんがズラリ並んで、大人気

ー！ 雨が降らなかったら、すごかったよ。水路の終わりの「和」の感じで。。。プラスチックのバケツがむき出しだったら、いまいち。雨が降っても、かさを差して楽しんでくれました。



今年の路面電車まつりでは新しい試みとして、まつりを盛り上げる街頭パフォーマンスを企画しました。しかし、これは RACDA 内部だけでは用意できないため、いろいろな方のご協力をいただいたのです。またそれが、企画が二転三転してしまい、思い切って広報できない理由でもありました。企画が迷走する中で、RACDA 自前でも何とかしようと、バルーンアートの練習をする人ができたり、「路面電車漫才をやる」(←もちろん素人)と思い切る人ができたり、かなりな冒険であったわけです。

当日、蓋を開けてみれば、大道芸ショーとフラダンス公演は大好評だったようですし、バルーンアートは会場のカフェ周辺に集まる人々を楽しませていました。素人路面電車漫才は東山と駅前会場で2回公演しました。いや、カッパの格好でよくやっていただきました。事務局にもネタ合わせに集まっていました。しかし駅前広場でフラダンス公演とはよくやったな。広いところなのでスペース的にはできるんですよ。今は岡山駅の改装工事中で限られていますが、通常時はもっと自由に使えるところですよ。

《写真説明》上から(1)～(6)とします。

(1)大道芸人・チャーリーさんのショー(東山会場)

(2)駅前広場でのフラダンスショー、途中、雨での中断がありましたが、沢山の方が足を止めて見てくださいました。ハウオリズ・マサコ アケタ・フラ スタジオのみなさんです。

(3)フラダンスショーは大勢の出演で約1時間になりました。駅前に公演に向かう際にはMOMO車内でフラダンスが見たくなる「フラダンスのお話」がありました。

(4)チャーリーさんには東山会場、駅前会場、そしてMOMO車内でもパフォーマンス公演をお願いしました。

(5)カッパの格好をしての「路面電車漫才」。危ぶまれたパフォーマンス企画の救世主です。漫才演目は「路面電車にタダ

で乗る方法」。いいぞ、どっかの地下鉄漫才に負けるな！

(6)チャーリーさんはいろいろな芸のレパトリーを持っておられます。動かない写真でしかお見せできないのが残念ですね。ずい分無理をお願いしてしまいました。



そういうわけで、周期的にやってくる雨にいじわるされながらも、新しい試みで準備が大変だった岡山路面電車まつりは予想された(?)大きなトラブルもなく、フラダンスの余韻の中で終わったのです。

RACDAだけで、こんなイベントができるわけなく沢山の方、団体にお世話になり、出演や出店でイベントを支えていただきました。その一部の団体さんのお名前をご紹介します。

【敬称略】・リ☆スタート・ステップハウスわ!・ふれあいサロン うさぎのいえ・衣装屋 オテンテン・ハウオリズ・マサコ アケタ・フラ スタジオ・京橋朝市実行委員会・まちづかい塾・カフェ&レストラン 停車場・アド イッコー

6月17日 津山親子エコフェスタ2007参加

7月15-16日第3回全国都市再生まちづくり会議(東京・新宿・工学院大学)参加



会場の工学院大学は新宿西口の高層ビル街。写真真ん中のビルです。RACDA 会長の岡さんがコーディネーター役をした「まちづくりニューウェーブ交流会」

RACDAの展示コーナー。こういうのはポスターセッションというらしいです。吉備線LRT化の話がモヤモヤした構想発表から、岡山市が計画案を作成すると表明し、具体的な市の事業なるまでを新聞記事で追いました。この部屋の窓からはこんもりとした

7月 25-8/6 丸善鉄道フェア、模型展示



4回目になる丸善での「親子で楽しむ鉄道フェア」。RACDA は鉄道模型ジオラマ、路面電車写真パネルなどを「貸し出し協力」しています。例年どおり、やはり子どもたちには鉄道模型が人気です。この前の日曜日は岡さんがやってきて、チョイ、チョイ、と緑のスポンジとつまようじで「木」を組み立て、模型の街で緑化工事をしていました。その様子は動画でどうぞ。それにしても展示会場でやってしまうのが面白い。模型教室ができそう。

8月 3日 東中央町新電停開業

岡山路面電車では42年ぶりの新設電停が開業します。台風の接近を考慮して、1日早めて、完成記念セレモニーが電停で行われました。これでまた路面電車を使った移動が便利になるわけで、とてもおめでたいことです。人にとって、使いやすい街にまた一歩近づきます。

清輝橋線の清輝橋電停と大雲寺前電停の間よりやや大雲寺前寄りに設置され、電停の名称は「東中央町(市民病院前)」です。名前のとおり、岡山市民病院から最寄の電停になります。本当に近いのか、今日、電停から歩いてみると歩道から270歩ほどで市民病院の西通用口の前まで来れます。この通用口からも病院内に入れることを確かめました。病院の正面玄関は建物の反対側でぐるっと外を回らないといけないので、電車利用の時はこの入り口を使うのがいいですね。待合室は正面玄関側なんですが、早く涼しい(冬なら暖かい)ところに入れます。



8月 15-21 日高島屋わくわくレールランド、会長模型展示



9月19日 幹部会にて、バス停アダプト事業創設決定

いま考えてみると、このまつりの頃、マスコミで盛んに取り上げられていた中国製食品の安全性問題のとはっちりで会長の岡さんの会社は大変なことになっていたのです。その後RACDAを取り巻く環境は大きく変わりました。夏が終わった頃、一同、新聞経済面を見て驚き、禁酒会館にあるRACDA事務局は会社をたたんだ岡会長を迎えることになりました。会長の「RACDA本業宣言」です。本当に、誰も予想しないことで…。しかし、とんでもなく強力な人材が入ってきたことは確かです。

岡山市郊外の、ある模範的に整備されたはずのバス停がひどく荒れているという報告でバス停の現状を知る調査が始まりました。ほとんど会長の独自事業です。

車に乗って、とにかく牛窓から玉野、水島とにかく根気強く調査をしました。見えてきたのはバス待ち環境のひどく冷遇された状況です。バス停にベンチも屋根もなく、行政や周囲からの協力もなく、ただ孤立無縁の状態とにかく運行だけは続けているバス事業者。そこで地域（行政も企業も住民も）でバス停環境を整備・維持しようという「バス停アダプト（事業）」の提案をし、成功モデルを作りたいと準備中です。全国的な運動にしたいと10月に開かれたバスマップサミット広島で提案し、サミット宣言にも取り入れられました。バスマップサミット開催監事団体で、バスマップ、そしてバスの利用環境についての本を出版する話も進行しています。（田辺）

9月22日 第2回 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 京都（同志社大学）参加 分科会の一つ「地方公共交通の現況と課題」分科会での「吉備線LRT化のアクションプラン」と題する RACDA の発表



9月26日バス停アダプト事業発案

10月7日バス停アダプト事業の調査開始

全国すべてのバス停に屋根とベンチを!!! RACDA提案 バス停アダプト事業の概略

お年寄りも子供も安心して快適に利用できるバス停を実現、特に要望の強い屋根とベンチは最低限設置するべきでは

1. バス停の清掃維持管理は地域の力で 企業、町内会、小中学校
2. 民有地提供によるバス停の高度化 企業の駐車場などの無償提供
3. 道路事業としてのバス停の高度化

一日30便以上のバス停の高度化は道路設置者の義務では

4. 公共施設にはバス停高度化の義務化を 施設との一体設計が必要
5. 広告付きバス停のミニ版の提案

大手ではできない各地の対応を包括する

6. バス停に限定して道路上の庇やベンチの法律的考慮を

違法ベンチや違法庇も利用者にはなくてはならない

一定の基準、条件をNPO主体に策定していく

RACDAを中心とした交通NPOの組織を挙げて、取り組みます

岡山地区バス停予備調査の結果 岡山市中心部から概ね10km半径のバス停調査を行った。



停留所名	岡山駅から下り					岡山駅へ上り				
	屋根	ベンチ	バスベイ	その他	バス会社	屋根	ベンチ	バスベイ	その他	バス会社
整備数	100	131	193			156	174	171		
バス停数	517	517	517			457	457	457		
整備率	19.3	25.3	37.3			34.1	38.1	37.4		
合計整備数	256	305	364							
バス停数	974	974	974							
平均整備率	26.3	31.3	37.4							

1. 山駅への上り方面の、上屋・ベンチの整備率が13%程度高い傾向がある

都心に向かう待ち時間の長いバス停が、自動的に整備されているらしい

2. 概ね道路復員の大きい新設道路には、上り下り問わずバスベイが設置されている

3. バス停の標識そのものがない場合が36例（／974）3.7%あった

当初からなく、片道のみ設置したのか、地域住民が勝手に撤去もしくは廃棄したのか、片道分の時刻表もない場合がほとんどだった

4. バス停名の表示看板部分が欠損、もしくは色あせで見えない場合が50以上あった

県道岡山倉敷線においては、連続して10程度の欠損が見られた、強風などによる欠損か、いたずらによるものかは定かではない

1. 時刻表以外の情報はほとんど皆無で、ルートなどがわからない今後RACDAとして提案実施していく必要を感じた

2. 時刻表についても、各社バラバラで、時刻改正なども張られていてよくわからない

表示の統一、時刻改正などの表示方法の統一を考える必要がある

3. 上屋やベンチの破損、痛みが激しく、通報や修理の方法が確立されていない

バス停アダプト制度による地元の関与が不可欠である

4. ベンチの形態がさまざまで、都市空間の美観からも、また快適性からも疑問が多い

一定の基準やモデルを作成する必要がある

5. 無理にバスベイを設置したため、歩道が危険なほど狭められている場合がある

渋滞緩和の意識が先行し、バス停ごとの詳細な検討が行われていない

以上、バスベイのサイズ、歩道の高さや幅、照明の有無、隣接地との関係などさらに詳細なバス停調査が必要だと感じたが、これには地域社会の参加が不可欠である。

10月13-14日広島第5回バスマップサミット

10月20日 エコウェーブ主催・新岡山県環境基本計画検討会

自動車分担率の5%削減を提案、公共交通施策の具体案化を提案

10月24日国会議連の総会開催

10月25日鉄道総合研究所の蓄電池電車公開

10月26-28日スウェーデン訪問団岡山訪問

10/14—11/4 ストックホルムの事業者か愛好家12名 全国の愛好団体との交流、都電、江の電、京福、阪堺、松山、高知、広島、岡山、筑豊、長崎、熊本、鹿児島

10/26 夕、岡山着。10/27 午前岡電、午後 MOMO 18:00 シティホテル厚生町で懇親会

10/28 午前 RACDA との交流会

11月13-14日北勢線訪問 下津井電鉄メリーベル号などの北勢線転用について

11月14日 バス停アダプト岡山運輸支局との調整、岡山国道事務所との調整

11月21日川崎重工蓄電池電車見学、ROBA関係者・阿部氏来岡山

11月22日下津井訪問（4名）以後保存車輛の塗装など、親交を深める

11月25日京都気候ネットワーク「市民が進める温暖化防止2007」シンポ

12月4日のんべい便利マップ 飲酒運転撲滅キャンペーン都心マップバージョン完成、3000部

「目に見えて、役に立つRACDAを」という視点で初制作したのが12月の忘年会シーズン直前に発行した「のんべいバスマップ」です（かわら版44号参照）。こ

れは夜の繁華街からどうやって公共交通を利用して帰るかをガイドした便利地図で、各方面への公共交通の最終時間が載せてあります。こういう発想は今までに無かったようで、地元新聞をはじめ、インターネットニュースにも取り上げられ、かなり話題になりました。



た。他県からのんべいバスマップについての講演依頼がRACDAにいくつか来るようになりました。

12月6日 ESTフォーラム

2008年 バス停アダプト事業調査、ビアガー電ワイン電車開始

1月 福田首相の施政方針演説で路面電車整備が語られる

明るい話題で力がもらえるのは、今年1月の福田首相の国会・所信表明演説で「地方の再生として路面電車の導入を支援する」とついに言ってくれたことです。「路面電車？ そんなもん…」という時代からやっとここまで

…きました。(泣)

かねてから検討されてきた R A C D A の法人化（現在は任意団体）も会をとりまく状況が激変したため、現実味を帯びてきました。なにせ、見えないところで活動を支えてくれていた岡さんの会社はもうないので、国土交通省や国会に会長が情報収集・政策提案に行くときの新幹線代や会合出席費も会から支出しなければならなくなりました。会単独の予算で1年間事業を回し、拠点（事務所）の維持をし、日常の活動を支えるスタッフの人件費を出して、本来目指す社会の実現を目指すのは大変な技が必要になります。法人化をすると大きな仕事を行政から受けやすくなるという利点があります。ですが実際のところはアイデアと実力勝負です。

昨年に続き、一宮地区で吉備線の L R T 化推進活動を頑張っておられる小早川さんが今年の 1 月に沿線・足守地区の町内会署名を集め、要望書とともに市役所等、関係機関に提出してくださいました（かわら版 4 6 号参照）。沿線での講演会も予定されています。

岡山市役所では「交通戦略会議」がすでに数回開催され、吉備線の L R T 化はもっとも大事な時期を迎えています。また今年 5 月には岡山市議会内に L R T 議員連盟が結成される予定と市議さんから聞いています。

この他、毎月の京橋朝市（…これは眠い）では路面電車駅前広場乗り入れ、環状化署名集め、バスマップの販売、かわら版の配布活動を続けています。依頼次第ですが、公民館講座への講師派遣もやっています（これからこれは



強化したい）。

全国路面電車ネットワーク、国会 L R T 議員連盟での活動、バスマップの販売、やっていないようで、いろいろやっています。署名は遠くから郵送等で協力してくださる方もいます。もっとも効果的な時期に提出します。

しかし、目指すものは大きいですが、R A C D A は深刻な人手不足です。団体の技能を高めるのと同時に「自分の力を社会のために使いたい」という人々に「こういう活動の場があります」とメニューと役割を提示できる

ような団体に形作っていく必要があると考えています。なんと言っても、そういう力をうまく結集することが市民団体の力、実効性、発言力につながります。

そういうことを考えておりますので、皆さまもよろしく R A C D A をご支援ください。「あってよかった」といういい会にしていきたいと考えています。

活力あるみなさまの参加をお待ちしています。

1 月 25 日 N P O 協働フォーラム

2 月 7 日 足守地区吉備線 L R T 化署名提出

2 月 8 日 J R 西労からの講演依頼

茨城交通の社長に R A C D A 高岡メンバーで万葉線職員の吉田千秋さん選出

2 月 22 日 会長、島原鉄道で講演 J R 岡山支社長懇談、J R 顧問懇談

2 月 29 日 国交省道路局路政課、自動車交通局企画室、都市地域整備局街路課と調整

3 月 1 日 東大で交通まちづくり研究会開催、会長参加

3 月 10 日 和気議員市議会で上下分離について

3 月 16 日 逢沢議員との了解事項（議連、市長へ）ブログ、和気＋斉藤

3 月 17 日 岡大阿部教授訪問、江見顧問懇談、環状化復活のいきさつ

3 月 22 日 北勢線成田さん、安藤さんが下津井保存会訪問（会長同行）

3 月 30 日 近畿運輸局・京都市 M M シンポジウムにてバス停アダプト構想発表

5 月 4 日 京橋朝市ミニ M O M O 運転について

5月22日 バス停予備調査終了

5月23日 岡山県バス協会会長にバス停アダプト構想説明

5月24日 吉備線総会（鉄道利用者会議総会との協働フォーラム）

講演①市民活動としての交通・まちづくり 岡会長

講演②吉備線の未来 川島さん

講演③交通政策の現状と今後の展望 佐藤先生

講演④地元の取り組み 小早川さん

5月30日 岡山県バス協会との調整 岡山市交通政策課に説明

5月31日 COALA道路財源シンポ

6月6-7日 のんべいマップ・札幌土木計画学研究会にて発表

6月8日 路面電車祭り

6月10日 岡山市議会LRT推進研究会設立 超党派40名参加

6月13日 バス停アダプト記者発表

6月20日 岡西公民館講演

6月26日 国会LRT推進議員連盟、事業者の意見を聞く会

7月2日 連合町内会へバス停アダプト説明

7月7日 MOMOでビアガー電①開始

7月10日 連合婦人会へバス停アダプト説明

7月16日-8月4日 丸善「親子で楽しむ鉄道フェア」

8月1日 備前ロータリークラブにてバス停アダプトなど講演

8月7日 京都運輸労働組合など視察来訪

8月12日 岡山弁護士会・会長講演

9月2日 RACDA自転車部会①

9月20日 広島でグリーンムーバーMAX利用のイベントで、会長講演

9月28日 堺シンポジウム、会長パネラー

9月30日 岡山国道事務所・自転車研究会①

10月4-5日 全国まちづくり会議・恵庭(北海道)交通まちづくりシンポジウム

10月5日 路線バスを存続させる白石の会にて会長講演

10月17-19日 福井路面電車サミット・7名参加

10月24日 MOMOでワイン電車①開始

10月28日 岡山国道事務所・自転車研究会②

11月1-3日 バスマップサミット新潟・3名参加

11月8日 愛知県知多の市民団体来訪 夜19:30MOMO懇親会・ワイン電車②

11月20日 岡山国道事務所・自転車研究会③

11月21-24日 岡山理科大学園祭り、模型とパネル展示

11月21日 ワイン電車③ボジョレー解禁特別

11月22日 島会創立記念シンポジウム

12月6日 第三回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会・2名参加、RACDA模型展示

- 12月11日 岡山国道事務所・自転車研究会④
- 12月13日 利き酒電車 どんたく協力
- 12月17日 バス停アダプト、岡山県バス協会にて説明
- 12月26日 RACDA 忘年会、MOMO 貸切

2009年 RACDA法人化、犬島・直島アクセスマップ

- 1月9日 岡山経済同友会ボランティアプロフェッサー
- 1月14日・3月1日 表町自転車実験に事務局長協力
- 1月16日 RACDA 鉄道模型をカフェ&レストラン停車場に展示**
- 1月23日 岡山国道事務所自転車高松視察に会長同行
- 2月1日 京橋朝市アート村
- 2月20日 岡山国道事務所自転車高松視察⑤
- 2月23日 バス停アダプト・トマトベネッセ前完成**
- 2月25日 全国路面電車ネットワーク民主党との交通基本法懇談会、会長参加**
- 3月6日 アドマチック天国取材・MOMO でワイン電車④
- 3月11日 新交通システム推進議連総会・会長全国路面電車ネットワーク報告**
- 3月22日 RACDA 総会、NPO 法人 RACDA 設立総会**
- 3月25日 長岡団地バス停花植え会
- 3月28日 会長、京都の勉強会で講演(山田京大名誉教授主催)
- 4月7日 犬島・直島アクセスマップと時刻表の作成配布**
- 4月25日 メーデー会場(運動公園)でLRT 広報 臨時瓦版配布、吉備線LRT化試算
- 4月30日 タマ電車出発式
- 5月28日 環境自治体会議多治見大会、バス停アダプト発表** 会長参加、パネラー発表
- 5月29日 内田百閒生誕120年記念阿房電車、ビアガー電
- 6月14日 路面電車祭り**
- 6月18日 総社市議会LRT研究会(7人/22人)にレクチャー** 議連発足
- 6月19日 総社市小寺地区にて住民有志と懇談
- 6月30日 全国路面電車ネットワーク交通基本法P 会長参加
- 7月9日 吉備線LRT化講演、足守 青少年育成協議会、会長講演
- 7月22日～8月3日 内田百閒と鉄道フェア・丸善** レイアウト製作展示
- 8月22日 総社門田公民館住民説明会
- 9月30日 自転車マップ打ち合わせ
- 10月12～13日 バスマップサミット沖縄** 岡、沼本、石井、松田
- 10月19日 岡山理科大学UD講座
- 10月23日 三日月国交省政務官、高速無料化・暫定税率廃止影響について面談、記者発表**
- 10月25日 自転車マップ調査
- 10月31日 第一回LRT都市サミット・広島参加**
- 11月16日 市議会LRT議連一宮説明会
- 11月20日 ワイン電車 ボジョレー電車

11月25日 国会新交通システム推進議連総会・東京 会長参加、報告
 11月29日 京橋－犬島－男木島の直行便予備実験 岡、丹羽参加、高松で会議
 12月3日 京橋－犬島－男木島の直行便実験
 12月4日 公共交通についての緊急アピール 国交省三日月政務官手渡し、国交省記者会見
 12月5日 人と環境にやさしい交通を考える全国大会・東京 次回岡山開催決定
 12月6日 バスマップサミット次回開催地決定会議 東京、会長参加

2010年 人と環境にやさしい交通を考える全国大会・岡山開催

1月29日 岡山県講演会「公共交通の未来を拓く」鈴木文彦、三光荘
 2月5日 堺の池田さんRACDA訪問 阪堺線問題
 2月8日 法政大学RACDA訪問、宇野バス訪問
 2月9日 犬島住民説明会参加
 2月25日 東京・国土交通省ロビー活動 会長
 3月5日 全国大会打合せ、みよしの 東京・岡山合同会議
 3月6日 岡山自治体学会 会長パネラー、報告
 3月13日 会長、高松にて環境大臣の対話会に参加 環境税について質問
 3月15日 会長、東京にて国交省ロビー活動
 3月16日 交通まちづくり研究会・東大 会長パネラー、報告
 4月1日 犬島・直島アクセスマップ改訂版発行
 4月24日 メーデー会場（運動公園）でLRT広報
 5月20日 瀬戸内地域自転車利用推進連絡会議、広島 事務局長参加
 5月21～22日 路面電車サミット・富山大会
 5月23日 福井ROBAの会15周年シンポ 会長パネラー、報告
 6月12日 宇野線100周年故郷阿房列車
 6月13日 路面電車祭り、RACDA模型停車場撤収
 6月29日 東京・交通基本法勉強会 会長参加、翌日ロビー活動
 7月15日 総社川崎公会堂 説明会 参加者3名、当方5名
 7月19日 犬島・直島アクセスマップ改訂版発行 瀬戸内国際芸術祭開会
 7月21～8月2日 夏休み子供鉄道フェア・丸善 レイアウト展示
 7月30日 日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）福山
 「バスマップの底力」出版
 8月25日 国交省ロビー活動・理事長
 9月2日 犬島・直島アクセスマップ改訂版発行
 9月4日 交通まちづくりの広場・豊島区参加 理事長全国大会広報
 10月6日 バス停カレンダー販売開始
 10月16日 吉備線倉敷キハ28.58ラストラン協力
 10月30～31日 バスマップサミット・東京
 11月19日 吉備線デザインコンペ審査・岡電東山
 11月27日 人と環境にやさしい交通を考える全国大会・岡山

12 月 13 日 岡山理科大学UD講座 理事長

2011 年 交通基本法は東日本大震災で審議未了、移住者支援も展開

1 月 7 日 清輝橋交通量調査

1 月 29 日 RACDA 大阪・堺設立総会参加

2 月 2 日 中国運輸局長 RACDA 訪問

2 月 8 日 飛躍塾 RACDA 会長講演・NPO センター

2 月 11 日 盛岡 LRT 走らせ隊・会長講演

2 月 19 日 ぐるっと高松・会長講演

2 月 26 日 RACDA 総会・岡山県青年館

3 月 11 日 東日本大震災

3 月 14 日 環境省バイクBiz会議参加

3 月 20 日 おいでんせえ岡山設立・有志参加

3 月 28 日 バスマップ岡山 7 版、倉敷 3 版完成、配布販売開始

4 月 5 日 ソロプチミスト岡山 40 周年式典・寄付受領

4 月 9 日 チボリ模型デジタルミュージアム移転

4 月 23 日 メーカーJR 西労働組合ブース協力参加

4 月 24 日 チボリ模型デジタルミュージアム・オープン

5 月 10 日 飛躍塾・理事長講演・NPO センター

6 月 10 日 NHK・BS 新日本風土記「路面電車」放映

6 月 12 日 路面電車祭り

6 月 27 日 交通基本法制定ロビー活動・本格開始

8 月 17 日 夏休み子供体験学習・路面電車運転教室

9 月 5 日 長野電鉄屋代線問題・関係者来訪

9 月 7 日 問屋町会長講演、マップ作成計画

9 月 24 日 岡山駅前広場路面電車乗入トップ会談

9 月 25 日 ハピママ祭り RACDA ブース・倉敷芸文館参加

10 月 9 日 RACDA ゼミ・岡山駅前乗入、東大吉村ゼミ

10 月 10 日 井原鉄道祭り・トロッコ貸出し

10 月 15 日 MOMO2 出発式、鉄道記念日協力参加・デジタル

10 月 27 日 長野電鉄屋代線問題・関係者来訪、LRT 化方向づけ

10 月 29 日 RACDA 大阪・堺設立総会参加、サミット誘致方針決定

11 月 4 日 LRT サミット・富山、参加

11 月 12 日 第 9 回バスマップサミット弘前、参加

12 月 5 日 岡山理科大学 UD 講座・理事長講師

12 月 11 日 阿房列車・尾道、企画参画

12 月 15 日 問屋町アクセスマップ完成、記者発表

12 月 18 日 問屋町アクセスマップ、大倉庫市配布

2012 年 チボリ模型おもちゃ王国移転、各地支援継続

1月18日 問屋町意見交換会
 2月24日 長野電鉄関係で国交省と市議会の勉強会開催、会長参画調整
 2月2日 神戸電鉄栗生線問題打ち合わせ
2月11日 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会・水戸、会長参加
2月13日 松江の交通政策検討会、会長参加
2月17日 富山大学 LRT 乗入シンポジウム、会長基調講演
2月19日 神戸電鉄栗生線存続シンポジウム、会長基調講演
2月23日 国会議連開催、会長ロビー活動
2月26日 RACDA 総会、意見交換会、懇親会
 2月29日 テレビ東京・土曜スペシャル取材、3/10 放送
 3月19日 松江の交通政策審査会、会長審査員参加
 3月22日 東京・国会議員との懇談会
4月13日 交通基本法シンポジウム東京、会長事例報告
4月15日 栗生線市民団体設立式、参加
 4月21日 メーデーJR 西日本労組協力・岡山ドーム RACDA コーナー
 4月22日 大阪・京都 KOALA 総会・会長講演
 4月22日 パピマイイベント協力・倉敷 RACDA コーナー
5月6日 瓦版 100 号、岡電 100 周年記念号(5/5 配布)
5月25-27日 勝山環境自治体会議、会長事例発表
5月30日 チボリ模型おもちゃ王国移転
 6月1日 バスマップサミット第一回打合せ・高松 香川大学
 6月3日 富山公民館エコ祭り協力・プラレール
6月10日 路面電車祭り
 7月5日～ おもちゃ王国鉄道模型化作業、7月5回
7月23-24日 東京・国会国交省などロビー活動、会長
8月2-3日 東京・国会国交省などロビー活動、会長。BS7 番組出演
 8月13日～ RACDA クリーンモバイル冊子ロビー活動開始、以後2月まで約50人訪問
 8月11日 プラレールイベント・倉敷イオンモール
10月4日 鉄道の日イベント協力(東山会場)、3007 お別れ電車
11月16-18日 第11回路面電車サミット2012大阪堺
 11月18日 大阪バスの会議参加、会長講演
 11月25日 長野市 LRT シンポジウム、会長講演
 12月21日 スイート電車実験
 12月22日 岡電・JR 西日本クリスマス駅前イベント協力、交通井戸端会議
 定例幹部会 22回、ワイン電25回、ビアガーデン車17回、スイーツ電車1回、京橋朝市13回

2013年 クリーンモバイル都市岡山をめざして発刊

1月19日 交通井戸端会議・出前公聴会、芳賀 18:00
 2月16-17日 札幌バスマップサミット、参加4名

2月18日 交通エコモ財団交通シンポ参加・会長、全国路面電車ネットワーク打合せ
 2月19日 国交省・国会ロビー活動・会長
 2月22日 スイーツ電車 高校生とのコラボ模索、西日本調理師学校
 2月24日 RACDA総会
2月28日 「クリーンモバイル都市岡山をめざして」冊子完成・配布開始
 3月2日 全国路面電車ネットワーク内田事務局長追悼会・会長参加
 3月8-9日 両備フェア出店・RACDA鉄道模型展示
3月16-17日 新潟・人と環境にやさしい交通をめざす全国大会、参加2名
 3月19日 備讃瀬戸アクセスマップ春版完成・配布（瀬戸内国際芸術祭 2013）
 おもちゃ王国・チボリ模型等改修工事開始
3月20日 百鬼園故郷阿房列車第24弾・吉永、共催。バスチャーター等支援
 3月31日 岡山駅前デジタルサイネージオープン式典
4月7日 日光3000型譲渡出発式出店
 4月22日 岡山駅バスターミナルのりば再編
 5月3日 メーデー出店協力
6月8日 第18回岡山路面電車祭り
 7月12-13日 JCOMM(仙台)参加・バスマップサミット宣伝
 7月19日 備讃瀬戸アクセスマップ夏版完成・配布（瀬戸内国際芸術祭 2013）
 8月2日 地域公共交通総合研究所の創立記念シンポジウム
 8月5日 RACDA鉄道模型改修工事着手
 8月14日 「クリーンモバイル都市岡山をめざして」山陽新聞で紹介記事掲載
 9月4日 問屋町方谷塾にて「クリーンモバイル都市岡山構想」
9月9日 岡山経済同友会地域振興委員会・吉村教授講演、17:00～18:30 会議所
「クリーンモバイル都市・岡山と交通シミュレーターMATES」
 9月15-16日 第11回高松バスマップサミット参加・8名
 10月4日 備讃瀬戸アクセスマップ夏版完成・配布（瀬戸内国際芸術祭 2013）
10月14日 鉄道の日イベント・東山会場出店協力
 11月27日 交通政策基本法成立
 12月5日 大森市長 11月議会で県庁通り交通実験・路面電車駅前乗入・吉備線LRT化に意欲
 12月16日 岡山理科大学ユニバーサルデザイン講義(会長)
 12月21日 岡電・JR西日本クリスマス駅前イベント協力、交通井戸端会議
 定例幹部会 20回、ワイン電 23回、ビアガーデン車 16回、スイーツ電車 1回
 京橋朝市交通井戸端会議 13回

2014年 駅前乗入れ・吉備線LRT化具体化

1月21日 大森岡山市長、JR西日本訪問、吉備線LRT化具体化へ
1月31日 駅前乗入れ署名提出、岡山市長宛て
2月19日 国会LRT議連、岡会長上京、国交省訪問

2月22日 RACDA総会、RACDAゼミ

4月16日 鹿児島市交通局など訪問（堀脇・岡）、芝生軌道と路面電車サミット

4月19日 岡山市都市整備局訪問 岡、市川、宗田など

5月11日 アメリカE R A岡山視察

5月21日 「城下・後楽園口」電停名改称とサイン計画提案

5月23日 国交省ロビー活動・会長

5月26,29日 レディオモモ・公共交通のESDを市川紹介

5月30日 ワイン電車・アペリティフ電車

6月7日 路面電車祭り

6月9日 水島サロン講演会「水島臨港鉄道とコンパクトシティー」会長

6月19日 ESDカフェ、市川講演

6月21日 パピママまつり（桃太郎アリーナ）

6月23日 総社市にて富山・森市長講演、参加

7月4日 東大吉村教授と岡山市懇談、イオン渋滞問題など

7月5日 東大吉村教授と桑田町町内会、イオン渋滞問題で交通井戸端会議

7月19日 おもちゃ王国にてRACDA鉄道模型展示、11月まで

7月26日 中部地区路面電車サミット・高岡、岡会長講演

8月22日 岡山市長、総社市長、JR社長の吉備線LRT化三者懇談会

9月4日 JR岡山支社長への表敬訪問、岡会長・加藤副会長

10月6日 国会・国交省ロビー活動、会長

10月11日 鉄道記念日イベント、鉄道模型展示と交通井戸端会議

10月19-20日 鹿児島市交通局ゆうゆうフェスタ参加・副市長訪問（堀脇、岡）

10月30日 高橋涼子+吉川 MANA ライブ禁酒会館、堀脇コーディネート

11月5日 低炭素シンポ、岡大、スモールモビリティ試乗会参加

11月7-8日 ESD RCE 会議+ユネスコスクール世界大会展示参加

11月9日 堺LRTシンポジウム、会長パネラー参加

11月11日 東大吉村先生と桑田町町内会、交通井戸端会議

11月29日 第6回人と環境にやさしい交通を目指す全国大会・宇都宮、参加（岡・堀脇）

12月1日 岡山理科大学ユニバーサルデザイン集中講座、会長

12月5日 イオンモール岡山・グランドオープン、渋滞なし

12月7日 朝市にて楯築模型を展示、一宮では交通井戸端会議も開催

12月23日 岡山駅クリスマスイベント・交通井戸端会議

定例幹部会 30回（前年20回）、ワイン電23回、ビアガーデン車16回、スイーツ電車1回
京橋朝市交通井戸端会議13回

2015年度事業報告

1/11 新年初の朝市

1/12 天満屋リブ総社にて、井戸端会議&楯築サロン、楯築遺跡・上道波止場遺跡の模型展示

1/13 JR営業課訪問（林田課長）+記者クラブ・日本旅行

1/16 中四国 EST*セミナー・会長パネラー参加 (*Environmentally Sustainable Transport)

1/17 都市ビジョン研究会 (かがやきプラザ7階)

2/1 京橋朝市交通井戸端会議

2/7-8 バスマップサミット京都・姫路

2/10 禁酒会館・高橋涼子ライブ、西手櫓ライトアップ

2/21 RACDA 総会

3/1 京橋朝市交通井戸端会議

3/8 西大寺会陽あと祭り、ブース出展、交通井戸端会議

3/14 豊橋鉄道コラボ「おでんしゃ」

3/14 ESD 世界会議の総括と今後の継続についての会議、国際交流センター

3/29 リブ総社一人一品展・交通井戸端会議

4/4 はこきび・しゃぼんコンサート&トーク (一宮地区)

4/5 京橋朝市交通井戸端会議

4/10,17 岡山大学経済学部ボランティアプロフェッサー授業 (会長)

4/10 ワイン電車・街づくり電車、横山副市長参加

5/3 京橋朝市交通井戸端会議

5/3・4 県庁通り交通実験

5/4or5 第1回 ハートフルももの里☆夢づくりプロジェクト in サンノゼの丘・・・参加

5/9 吉備高原都市のアースデーに参加

5/19 国会新交通システム推進議連総会、会長参加、鹿児島大会の案内

6/7 京橋朝市交通井戸端会議

6/13 第20回路面電車まつり

6/15 バスマップについて岡山市と意見交換 (岡、宗田)

6/17 自民党市議団RACDA説明会

6月末 鹿児島路面電車サミット概要書全国送付完了、名簿整理

7/4 東大吉村研究室・岡電と意見交換会、駅前乗入

7/7 京橋朝市交通井戸端会議

7/16 阿部副学長訪問、駅前乗入 (岡、宗田)

7/24 岡山市交通政策課、課長訪問、駅前乗入 (宗田)

7/23 国交省訪問、会長、鹿児島路面電車サミット後援について

7/24-25 JCOMM東京大会、バスマップサミット実行委員会後援、会長参加

7/26 第一回両備バスまつり参加

7/26 鹿児島路面電車サミット国会議連協力要請書送付、全国路面電車ネットワークMLに配信

7/27 岡山市議会共産党レクチャー

8/2 京橋朝市交通井戸端会議

8/9 リブ総社一人一品展

8/11 駅前乗入ラクダ提案書、岡山市に提出、会見参加はテレビ5局新聞6社

8/17~20 鹿児島にて堀脇打合せ、詳細決定

- 8/25 鹿児島路面電車サミット、実行委員長変更、一般告知開始、チラシ作製、主要団体郵送
- 8/29 岡山都市ビジョン研究会レクチャー、L R T × B R T
- 9/6 京橋朝市交通井戸端会議
- 9/9 市長平面案検討優先を表明、便数・渋滞を検討して、出来なければデッキ案も
- 9/22 ピースエコウィーク石山公園・交通井戸端会議
- 9/29 吉村先生ら来岡、駅前乗入鬱合わせ
- 9/27 広島バスまつり・全国バスマップサミット実行委員会ブース参加
- 10/4 京橋朝市交通井戸端会議、倉敷パピママまつり参加
- 10/5 20 周年 P ご案内を会員に郵送

10/10-11 県庁通り交通実験、初の県庁通り交通規制

10/12 鉄道の日駅前イベント

- 10/22 鹿児島路面電車サミット最終打合せ(岡、堀脇、宗田、建部)、あわててサミット宣言

10/23-25 LRT+路面電車サミット in 鹿児島

- 11/1 京橋朝市交通井戸端会議、ESD テーマ、楯築模型搬入
- 11/2 岡山理科大学、ユニバーサルデザイン講義、会長
- 11/5 矢野研究所、レクチャー
- 11/7 楯築サロンイベント、クリーンモバイル2 執筆開始
- 11/19 日本政策投資銀行、レクチャー
- 11/24 岡山市長が定例会見で、駅前乗り入れ平面案選択を発表

11/27 岡山市長に RACDA の賛成要望書提出、テレビ 6 社と新聞 5 社が囲み取材

市議会議長(自民党)に陳情書提出、RACDA7 名で約 30 分懇談

11/30 国会新交通システム推進議連総会、会長参加、鹿児島大会の報告

- 12/6 京橋朝市交通井戸端会議
- 12/17 市議会最終日、反対陳情 2 採択、1 件不採択、賛成 1 2 件・反対 1 件継続審議

12/19 RACDA 設立 20 周年記念パーティー、「クリーンモバイル都市岡山をめざして 2」発行

- 12/23 クリスマスイベント 2015in 岡山駅
- 12/29 京橋朝市・市交通井戸端会議

京橋朝市・井戸端会議等 2 1 回、ワイン電車・ビアガー電 2 4 回

2016 年度事業報告

- 1/4 駅前乗り入れ問題、市議会議長、成通社長に表敬訪問(福武・岡)
- 1/6 駅前パール新年会 (20 周年スタッフ打ちあけ会)
- 1/10 京橋朝市・交通井戸端会議
- 1/15 備讃瀬戸アクセスマップ制作着手
- 1/17 山陽新聞・牧野論文掲載、市長インタビュー掲載
- 1/18 瀬戸内国際芸術祭 説明会参加
- 1/23 奈良市地球温暖化対策地域協議会、L R T 講演 (会長)、関西ネットワーク会議
- 1/23 山陽新聞・M A T E S 分析掲載
- 2/1 岡山市建設委員会 (路面電車駅前乗り入れ) 審議傍聴、図面問題

2/4	バイクビス・環境省会議、会長参加
2/7	京橋朝市・交通井戸端会議、瀬戸芸アピール
2/9	政策投資銀行役員、禁酒会館訪問
2/18	岡山市建設委員会（路面電車駅前乗り入れ）審議傍聴、図面問題
2/24	市議会 2 月定例議会開催、予算案提案理由説明(会期 2/24-3/22)
3/2	自民党市議団代表質問、ゆめを語る論
3/4	ひなまつり電車
3/5	KOALA 交通まちづくりフォーラム・大阪、牧野さん講演
3/6	京橋朝市・交通井戸端会議
3/9	岡山市議会磯谷議員質問に、岡山市当局デッキへの配慮答弁
3/10	備讃瀬戸アクセスマップ校了
3/11	<u>東京大学吉村忍教授、駅前乗り入れ渋滞対策にて岡山来訪、意見交換会</u>
3/14	日本政策投資銀行、交通結節点レポート発表
3/19	<u>備讃瀬戸アクセスマップ春版配布</u>
3/20	瀬戸内国際芸術祭開催
3/22	岡山市議会本会議で路面電車予算条件つき採択、陳情全件継続審議
3/26	<u>RACDA 総会（13 時半－16 時半・市民会館）</u>
3/27	えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入完成、駅前乗り入れ完成
3/30	KSB で路面電車駅前乗り入れ、政策投資銀行レポート報道
4/3	京橋朝市・交通井戸端会議
4/24	市長政治パーティーに自民党市議団など市議のほとんどが参加
5/1	京橋朝市・交通井戸端会議
5/1	備讃瀬戸アクセスマップ・バスダイヤ改正版アップ、西讃岐時刻表作成・アップ
5/08	アースデイ（楯築サロン）参加、鉄道模型持参
5/14-15	<u>バスマップサミット松山・愛媛大学、参加(岡、石井、松田、谷田貝、沼本)</u>
5/22	中部地区路面電車サミット・福井に 100 名参集
6/5	京橋朝市・交通井戸端会議
6/11（土）	<u>第 21 回路面電車祭り「みんなの広場岡山駅前をどうデザインする」</u>
6/17	市議会個人質問にて駅前乗り入れ（則武議員）17 団体調査、交通実験実施 3 条件
7/3	京橋朝市・交通井戸端会議
7/13	岡山市交通政策課との意見交換、岡・宗田
7/15-16	<u>MM会議松山（Mobility Management）、会長参加</u>
7/17	備讃瀬戸アクセスマップ夏版配布
7/20	全国の地方議員による交通議連打ち合わせ(東京、鈴木一夫盛岡市議献策)会長参加
7/15	岡山市路面電車乗り入れを含む駅前広場検討委員会第 1 回開催、21 名
8/7	京橋朝市・交通井戸端会議
8/10	こんにちは新聞・駅前乗入特集記事
8/31	岡山国道事務所長訪問（岡・市川）
9/4	京橋朝市・交通井戸端会議

9/8	岡山市議会傍聴を契機に、岡山芸術交流アクセスマップを製作開始
9/19	広島バスまつり、バスマップサミット実行委員会ブース出展、会長参加
9/25	スルッと関西バスまつり、バスマップサミット実行委員会ブース出展
10/2	京橋朝市（全国有名朝市フェア）交通井戸端会議
10/6	岡山大学講演会（トロットマン元ストラスバーク市長）参加
10/8	鉄道記念日駅前イベント、ブース出展（鉄道模型＋交通井戸端会議）
10/3-5	備讃瀬戸アクセスマップ秋版配布
10/17	UD ユニバーサルデザイン集中講座・岡山理科大学(岡会長)
10/18	犬島・牛窓・東区アクセスマップ発案
10/25	一宮・ももの里（芳賀佐山・津高）バスプロジェクト改定案
10/23	パピママ祭り・倉敷芸文館(堀脇。岡)
10/26-27	人と環境にやさしい交通をめざす全国大会・福井参加
10/26	宇都宮 LRT について国交省は計画認可
10/29～	岡山商科大学 3 回講座(市川)
10/29-30	くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016 ブース出展（東京・会長）
	国交省に全国 IC カード共通化促進について働きかけ開始
11/06	京橋朝市・交通井戸端会議、楯築サロン野焼き
11/11	佐藤真治県議が死去。正会員の県議はゼロに
11/22	宇都宮市長選投票、佐藤市長辛勝 4 選 LRT 信任投票の性格も。89000 対 83000 の接戦 反対派の数字ねつ造、税金無駄遣い論にかなり影響された、LRT 議論の困難さを露呈
11/24	市議会建設委員会にて総合交通・路面電車駅前乗入を討議、傍聴
12/4	京橋朝市・交通井戸端会議
12/13	国会新交通システム推進議連、全国路面電車ネットワーク報告、国交省ロビー活動
	IC カードの全国共通化の推進、バスマップサミット後援について、会長
12/13	宇都宮市訪問、宇都宮ライトレール中尾常務、吉田副市長との懇談・会長
12/14	前橋・上毛電鉄視察・会長
12/16	日本政策投資銀行レクチャー
12/18	都市ビジョン研究会、富山 LRT 分析、吉備線 LRT 化、会長他参加
12/21	岡電ミュージアム・グランドオープン
12/29	京橋朝市止め市・交通井戸端会議
京橋朝市・井戸端会議等 17 回、ワイン電車 11 回・ビアガー電 16 回	
幹部会は原則毎月第 1 第 3 第 4 の火曜日 19:00～21:00 に南方きらめきプラザ 2F で開催、出席自由	

2017 年度事業報告

1/8	京橋朝市初市、交通井戸端会議
1/16	岡山地区全国 10 カード採用申し入れ
1/17	山陽新聞新春有識者アンケート「路面電車駅前乗り入れ賛成 7 割」の報道
1/22	都市ビジョン研究会参加

2/5	京橋朝市、交通井戸端会議
2/17	国交省ロビー活動、都市局・自動車局、公共交通部、道路局
2/18-19	第 14 回バスマップサミット横浜 参加者 150 人程度
3/3	貸切コンサート(橋本アリサ)
3/5	京橋朝市、交通井戸端会議
3/14	宇都宮 LRT 佐藤市長ほか激励会、国交省ロビー活動
3/18	ラクダ総会、ラクダゼミ「Action5+1!!! 電車・バス、乗り継ぎ拠点を便利に」
3/26	パピママ倉敷
3/30	めぐりん西大寺線参入申請
4/2	京橋朝市、交通井戸端会議
4/4	ものの里お花見、ラクダ幹事会も臨時にももの里で開催
4/10	岡電両備バスロケ運用開始、岡山市デジタルサイネージ改善
4/16	造山古墳蘇生会、第 3 回古墳まつり
4/20	国土交通省ロビー活動
4/21	川崎市市民ミュージアム、アンデルセン展チボリ模型展示(4/22～6/25)
	会長・佐藤真治遺族参列
4/26	おいでんせえ岡山夜カフェ、避難移住及び移住希望者対象にて交通井戸端会議
5/7	京橋朝市(9 時まで)、アースデイ岡山@RSK バラ園(10 時～、楯築模型搬入)
5/22	岡山市駅前乗入・広場第 3 回検討会、2 案提示。シンボルゾーン拡張提示
5/25	岡山県バス協会羽原さん訪問、バスマップ受け取り 300 部
5/28	「阪急バスお客様感謝 day」へのブース出展(全国バスマップサミット実行委員会)
5/29	赤磐市交通関係担当者との意見交換会、路線バス・コミバス・デマンドなど
6/4	京橋朝市、交通井戸端会議
6/10	第 22 回路面電車まつり、ラクダ劇場「スマホで乗ろう電車バス」
6/19	第 2 回交通ジオメディアサミット「スマートフォンが作り出すモビリティを考える」
6/19	東大吉村先生来岡山、MATES 打ち合わせ懇談
6/25	栗生線存続問題・総会講演、会長
7/2	京橋朝市、交通井戸端会議
7/7	OATC 研究会、オープンデータ・ビッグデータ活用について、太田恒平ほか
7/14	全国の地方議員の交通問題意見交換会(13-17 時衆議院第 1 議員会館第 4 会議室)
7/21	全国路面電車サミットに向けて、全国電停バリアフリー調査に着手
7/28-29	JCOMM 会議 (Mobility Management) 博多大会、会長参加
8/4	ビアガー電・山田氏歓迎会(若桜鉄道前社長)あと 3 人
8/6	京橋朝市、交通井戸端会議
8/8	岡山市は駅前乗入れ渋滞調査に MATES 導入を検討
9/2	宇都宮で L R T 着工総決起大会、逢沢一郎 L R T 議連会長講演
9/3	京橋朝市、交通井戸端会議
9/11-13	松山訪問(子規記念博物館、メルパルク松山、松山市、伊予鉄)サミット実行委員会組織
9/18	楯築サロン出雲訪問・特殊器台寄贈式、参加者募集中

9/23	中部地区路面電車サミット、RACDA 高岡 20 年 4 8 名、会長参加
9/24	万葉線と富山地方鉄道の電停予備調査を実施、問題点と調査内容再検討
10/1	岡電・両備・下電バスにて Suica など全国共通 10 カードの片方向利用が開始
10/1	京橋朝市、交通井戸端会議
10/2	全国路面電車サミット 2018 松山実行委員会発足
10/14	鉄道記念日イベント、駅前・東山
10/14-15	富山市中心にてトランジットモール実験
10/19	岡山市立御南中学校のグループ別研修受入、9-12 時・禁酒会館
10/26-27	第 11 回大名庭園サミット岡山大会協力
10/27	ハロウィン電車
10/28-29	くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2017、東京・東洋大学
10/30	国交省ロビー活動、鉄道局長他、路面電車サミット、バスマップサミット、交通財源
11/5	京橋朝市、交通井戸端会議
11/8-9	伊予鉄道車庫訪問、現地打合せ、松山市、実行委員会、松山電停調査
11/20	交通議員連盟発足、国会にて地方議員の集まり、鈴木一夫盛岡市議の音頭
12/3	京橋朝市、交通井戸端会議
12/6	国会新交通システム推進議連総会、会長参加、全国路面電車ネットワーク報告 路面電車サミット・バスマップサミット・バス問題で国交省ロビー活動
12/8	日本酒電車
12/8-9	バスマップサミット山梨大会、全国バスマップサミット実行委員会として初開催
12/ 11	吉備線 L R T 化、JR との調整に難航と市長表明
12/13	路面電車環状化延伸に検討の時期が迫っていると市長前向き表明
12/15	交通実験の代わりに MATES によるシミュレーション採用を詳しく市長詳細説明
12/29	京橋朝市止め、交通井戸端会議

京橋朝市・井戸端会議等 16 回、ワイン電車 8 回・ビアガー電 19 回

幹部会は原則毎月第 1 第 3 第 4 の火曜日 19:00～21:00 に南方きらめきプラザ 2F で開催

ラクダ瓦版タイトル (ラクダホームページに掲載)

1/8 発行	新贗作★吾輩は猫である、エコ街ック天国・岡山市東山編
2/5 発行	バス路線が廃止されると高校生が消え、人口消滅の危機
3/5 発行	完全な自動運転の条件、電車バスとの共存関係は
4/2 発行	電車バス乗り継ぎ拠点を便利に、快適に!!!
5/7 発行	チボリ公園残影、川崎市アンデルセン展で模型展示
6/4 発行	スマホで乗ろう電車バス
7/2 発行	駅前広場で遊ぶ!!!路面電車まつり
8/6 発行	進まない日本の低床路面電車導入
9/3 発行	都市空間を大量消費する、自動車と道路を考える
10/1 発行	おばあちゃんの喜ぶ電停バリアフリー化

- 11/5 発行 商店街を囲む路面電車とホコ天・トランジットモール
 12/3 発行 全国バスマップサミット山梨・全国路面電車サミット松山
 12/29 発行 電車バスと自動運転、公共の交通の未来像

2018 年度事業報告

- 1/11 岡電・秋にチャギントン電車導入を発表、4 億円以上、インバウンド予算

1/12-13 日 LRT 都市サミット松山

13-14 日 第 1 3 回全国路面電車サミット松山開催、主幹事団体

全国バリアフリー電停調査 1120 箇所の実施結果を報告、低床電車の導入 115 輛/701 輛

- 1/14 京橋朝市、瓦版 173「環境に優しく交通弱者の居ない街～桃源郷～を目指して」
 2/4 京橋朝市、瓦版 174「第 1 3 回全国路面電車サミット 2018 松山」
 2/8 岡山市委員会では駅前乗入れ MATES 利用の渋滞予測、
 吉村先生説明、午後環状化ルート視察
 同日、岡山市長は駅前乗入れ予算化を発表

2/8 両備岡電 31 路線廃止届けを発表、同日めぐりん認可、西大寺 250 円

- 2/9 朝日新聞・大阪全国版に両備岡電 31 路線廃止記事が報道→ネットで拡散
 2/13 石井国交大臣、国交省も議論に参加すると表明
 2/15 倉敷・瀬戸内・玉野 3 市長が存続に協議会設置を岡山県に要望
 2/16 岡山市は路面電車の環状化検討予算の盛り込みを示す
 2/14 会長国交省ロビー活動、バス問題・吉備線駅前問題など
 2/22 津村啓介氏予算委員会で質問、安倍総理は国交省協議参加を表明、

国交省中国地方整備局インフラシンポ、会長代理講演

- 2/24-25 高井崇志議員、総務委員会・予算委員会で取り上げ
 2/23 岡山市・総社市・JR 西日本トップ会談、合意の見通しを示す
 3/4 京橋朝市、瓦版 175「岡山電車バス大論争！岡山市は交通連合を目指せ！」
 可部終着駅サミット参加

- 3/5 両備岡電 2 回目の記者会見、廃止届けの起源を一律 3/31 とし、すべて残す相談をしたい
 3/14 両備岡電 2 回目の記者会見、岡山市など 4 市長の要請により、廃止届けの取り下げ

3/21 ラクダ総会、ラクダゼミ「復活！路面電車環状化・市民会館へ単線環状化プラン」

講演「データで見る岡山の街と交通」(株)トラフィックブレイン代表取締役・太田恒平

- 4/1 京橋朝市、瓦版 176「岡山電車バス大論争皆さんのご意見一覧」

4/4 JR 吉備線 LRT 化の三者基本合意・記者発表、ラクダにも取材など相次ぐ

- 4/10 両備岡電 4 回目記者会見、めぐりん認可取消を運輸局に申入、岡山市バス停手続不備指摘
 4/12 両備労働組合 23 日ストを岡山県に通知 4/13 両備労働組合 26-27 日ストを岡山県に通知
 4/14-15 地方鉄道大学・岡山視察(ひたちなか吉田社長、豊田)、岡会長報告
 4/16 両備労働組合ストを表明(県への届けは 12 日)

4/20 運賃収受スト・無料運行ストのアイデアを提案、名古屋大学加藤教授が組合関係へ働き掛け

- 4/23 両備西大寺線 1 時間スト、ラクダ岡会長コメント RSK にて放送
 4/24 両備岡電労使交渉妥結、2 年間路線廃止なし、3 年間労働条件確保、RSK メッセージ

4/25	鉄道ジャーナル吉備線取材
4/27	<u>めぐりん西大寺線参入、両備西大寺線・岡電路面電車終日集改札ストライキ実施</u>
5/6	京橋朝市、瓦版 177「桃太郎ライトレール LRT バスも 1 日 30 便へ GO!」
5/9	岡山理科大学ユニバーサルデザイン授業、会長
5/21	<u>岡山市第 1 回法定協議会開催、大規模会場開催の働きかけ、傍聴 25 名など総計 117 人</u>
5/22	網走市議会議員近藤憲治氏ラクダ来訪、J R 北海道問題
5/27-28	JCOMM 豊田「ラクダかわら版 179 号の軌跡」発表・会長
6/3	京橋朝市、瓦版 178「岡山市公共交通網形成計画の法定協議会開催」
6/9	<u>路面電車まつり</u>
7/1	京橋朝市、瓦版 179「全国から注目の岡山電車バス・オープンデータ」
7/1	自治労講演会「交通まちづくりは公共の福祉」ワークショップ形式、会長講演
7/6	<u>西日本豪雨発災</u>
7/9	①災害支援ネットワークおかやま会議に参加、岡・野沢・沼本、砂川水没地域について発言 倉敷市ボランティアセンターを清音駅に設置提案
7/11	J R 一部路線復旧、真備水没地域・国土地理院発表で真備アクセスマップ発案
7/12	②災害支援ネットワークおかやま会議、岡・野沢・沼本、岡山県に水没規模について発言
7/13	<u>真備アクセスマップ v1 伯備線 10・11 便再開</u>
7/14	公共交通オープンデータ最先端都市フォーラム in OKAYAMA
7/19	堀脇理事、放置自転車の清音駅貸出しを提案 ③災害支援ネットワークおかやま会議・野沢、山陽新聞岡山さんと鉄道存続問題議論
7/20~	堀脇理事已総社市・倉敷市・鳥井議員と連日自転車貸出し交渉
7/21	真備アクセスマップ v2 井原鉄道代行バス情報追加、堀脇さん清音駅実地調査
7/22	J R 在来線存続問題を山陽新聞コラム取り上げ
7/23	真備アクセスマップ v3 伯備線増便データ追加
7/24	津山・美作・真庭・新見の 4 市が J R 路線存続協議会立ち上げ
7/25	岡山市総合交通計画ハブコメ原案作成、岡山県の砂川水没地図入手・facebook 拡散
7/26	山陽新聞・取材・砂川氾濫地域、(8/4 砂川水没地図山陽新聞掲載) 災害支援ネットワークおかやま会議・野沢理事
7/28	<u>清音駅自転車無料貸出し開始（堀脇、平和の樹大橋）</u>
7/29	森山議員清音駅訪問、facebook で紹介
7/31	R S K ニュース自転車無料貸出放送、岡山市 20 台提供連絡、パブコメ提出
8/1	真備アクセスマップ v4 伯備線開通データ・清音駅自転車案内・真備循環バスデータ追加
8/2	⑤災害支援ネットワークおかやま会議参加、岡・野沢、アクセスマップ配付、発言
8/3	若林・森山議員が岡山市自転車 5 台持ち込み、報道分析実施
8/5	京橋朝市、瓦版 180「真備町アクセスマップと清音駅無料自転車」 京橋・牛窓クルーズ、ラクダも協力、瀬戸芸に向けて、津山線全面復旧
9/2	京橋朝市、瓦版 181「災害も交通も地域力の勝負自然も人も憎まず、知るのみ!」
9/3	井原鉄道全面復旧（9/1 岡山県内 J R 路線全面復旧）
9/23	<u>広島バスまつり・全国バスマップサミット実行委員会出店</u>

9/24	第2回岡山市公共交通網形成協議会
9/27	ラクダ西大寺ワークショップ五福座、各会派市議など20名、区役所乗入れに道
10/7	京橋朝市、瓦版182「西大寺・五福座で電車バスとまちづくりWS」
10/14	鉄道記念日イベント、パピマイイベントプラレール参加
10/18	災害ネットワーク中間報告会、ラクダ自転車報告(堀脇)、井原線存続訴え
10/27-28	くらしの足を考える全国フォーラム・東京、会長国交省ロビー活動、ラブリーバス停
10/31	法定協議会幹事会、めぐりん岡山駅乗入れ結論持ち越し
11/1	国交省第一回「地域交通フォローアップ・イノベーション検討会」開催
11/4	京橋朝市、瓦版183「復興のシンボル井原鉄道を守ろう、レトロ Railroad」
11/10	北勢線阿下喜・終着駅サミット、会長基調講演「現代の軽便 LRT」、一般会計1%論
開始	
11/10-11	第15回全国バスマップサミット熊谷、松田会員参加、次回サミット岡山開催受諾
11/12-13	大名庭園サミット熊本、会長参加
11/18	ラクダ大阪・堺、会長基調講演「あの岡山で交通連合は出来るか、吉備線とバス問題」
11/22	岡山駅東口広場デザイナー決定 路面電車乗り入れで実現性評価、パブコメ提出
11/27	岡山市環境アセス独自条例4/1制定、軌道新設省略・新規鉄道1km以下は緩和
11/29	第4回瀬戸芸説明会、ベネッセ本社
12/2	第381回京橋朝市、瓦版184「世界98都市電車バス無料一般会計1%で人口増加」
12/6	市議会答弁で、吉備線新駅、駅間1つまで、沿線と周囲まで配慮
12/7	西日本豪雨復興支援・日本酒電車
12/10	地域公共交通総合研究所「公共交通マーケティング」国際交流センター
12/29	第382回京橋朝市、瓦版185「いいところ取り交通システム MaaS（マーズ）とは」
京橋朝市13回、瓦版13回、定例幹部会31回、ワイン電車など19回	

2019年度事業報告

1/12	岡山市の備中高松地元説明会、吉備線ライトレールで新駅の位置提示
1/13	第383回京橋朝市、瓦版186号「内田栄造(百閒)十五の春の初夢」
1/21	京橋クルーズ山崎副社長懇談、概略時刻表作成
2/3	第384回京橋朝市、瓦版187号「桃太郎線ライトレール新駅5カ所の意味」
2/7	国交省ロビー活動、会長、課長級以上13名と懇談
2/17	まび新春まつり、プラレール出店
2/26～	岡山市議会、答弁で駅前乗入れ・吉備線駅位置、バス問題など具体的に提示
3/3	第385回京橋朝市、瓦版188号「バス運転手不足解決で地域人口のV字回復」
3/9-10	第9回人と環境に優しい交通をめざす全国大会・前橋
論文 岡将男 「バス問題から OkayaMaaS へ」	
堀脇正信「真備復興自転車とアクセスマップ」(仮題)	
3/15	岡山市議会駅前乗入れ反対陳情を不採択、事実上駅前乗入れ決定、予算案可決
3/16	漱石フォーラム西大寺公民館(9-17)、百鬼園倶楽部レトロ参加、
チャギントン電車出発式、市長・運輸局長との懇談	

3/23 ラクダ総会・ラクダゼミ、テーマ「みんなの交通 OkayaMaaS」

3/24 パピママイイベント出店、プラレール

4/1 岡山東区役所乗入れ、ラクダ提案の実現

4/7 第 386 回京橋朝市、瓦版 189 号「健幸都市の条件は、高齢者電車バス無料」

4/12 岡山市公共交通網形成協議会第 3 回で、妹尾・岡南など路線調整案提示・基本合意？

4/13-14 古代三都物語（西川アイプラザ）

4/26-5/26 第 4 回瀬戸内国際芸術祭・春会期、アクセスマップ 11000 部配布

4/26 京橋クルーズ就航（会長テープカット）

4/20 国会 LRT 推進議連総会・東京、宇都宮教授講演、交通への一般会計投入について

4/27 両備フェリー新造船お披露目、会長参加

5/6 第 387 回京橋朝市、瓦版 190 号「祝！京橋港復活」

5/17 加藤博和教授、岡山市・両備本社を国のWGメンバーと訪問

5/24 駅前乗入れ委員会デザイン案承認、乗入れ 10 億+広場 29 億+道路改良 4 億=43 億円!!!

5/28 JR 西労組・吉備線フォーラム、会長パネラー、土井勉先生に基調講演依頼

5/30 岡山理科大ユニバーサルデザイン講座・会長

6/2 京橋朝市、瓦版 191 号「引き籠もり社会を解決電車バスの出来ること」

6/8 第 24 回岡山路面電車まつり、駅前開催のコロナ前最後

6/24 市議会答弁、江田議員、岡南地区の路線再編、区役所・ふれあいセンター東西路線議論

6/27 岡山市議会都市環境委員会で、バス協会からの交通実験実地実施の陳情採択

7/7 京橋朝市、瓦版 192 号「電車・バス・ももちやり・タクシーを月 1 万円乗り放題」

7/7 災害支援ネットワーク 1 年報告会、北長瀬ランチ

7/9 バス協会訪問、午前中岡山県新産業振興財団

7/11 岡山運輸支局訪問、バスマップサミット後援依頼

7/19-8/25 第 4 回瀬戸内国際芸術祭・夏会期、アクセスマップ 11000 部配布

7/19-20 JCOMM 金沢、備讃瀬戸アクセスマップ発表

7/29 岡山市公共交通網形成計画幹事会開催、路線ルート案提示

8/4 第 390 回京橋朝市、瓦版 193 号「使えるバスへの取り組み 岡山市法定協議会議論」

8/20 岡山市公共交通網形成協議会第 4 回で、6 方面の路線調整案提示・異論相次ぐ

岡山市は高齢者・障がい者補助を検討の方向性示す、税金投入には合意を

9/1 第 391 回京橋朝市、瓦版 194 号「岡山市バス 6 方面再編案路面電車延伸 7 案」

9/11 市議会答弁、市長は高齢者補助と環状化に具体的言及

9/28-11/4 第 4 回瀬戸内国際芸術祭・秋会期、アクセスマップ 11000 部配布

10/6 第 392 回京橋朝市、瓦版 195 号「新市民会館に路面電車、単線環状化のメリット」

10/10 中国運輸局丹呉課長訪問、バスマップサミット後援依頼、会長

10/14 鉄道記念日イベント参加

10/15 岡山国道事務所訪問、バス協会・運輸支局訪問、バスマップサミット後援依頼、会長

10/26 くらしの足をみんなで考える全国フォーラム参加、バスマップサミットチラシ配布

「瀬戸芸向けアクセスマップ」展示発表、会長・松田参加

11/1 JR 岡山支社訪問、瀬戸内市訪問・成本布野打合せ、バスマップサミット関連

- 11/3 第 393 回京橋朝市、交通井戸端会議
瓦版 196 号「鉄道・バス復活の鍵は市民協働」
- 11/5 岡山県観光課訪問、赤磐市花谷課長訪問、バスマップサミット関連
デジタルバスマップ合宿打合せ全国ネット会議開催、会長・松田
- 11/6 和気町・能勢訪問、バスマップサミット関連
- 11/8-9 LRT都市サミット札幌、会長・宗田理事参加**
- 11/9-10 路面電車サミット札幌開催、トークセッションなど、会長・宗田理事参加**
- 11/16 公共交通とまちづくりを考える会 I n 四国、高松にて開催、会長参加
- 11/22 駅前乗入れ委員会で、1 月に渋滞調査の実験実施を表明
- 11/22 東備バス・両備西大寺営業所訪問、バスマップサミット関連
- 11/23-24 日本路面電車同好会の岡山視察・チャギントン乗車、夜の懇親会場選定依頼
- 11/25 備前市訪問、運行管理者同席、バスマップサミット関連
- 11/28 国会新交通システム推進議連開催、制度財源について、国交省ロビー活動・会長**
- 12/1 第 394 回京橋朝市、瓦版 197 号「電車・バス、無料化で街を再起動！」
- 12/9 国交省委員会で岡電特許申請を審議、事業免許取得へ、2022 年度末までに開業へ
- 12/12 岡山市議会、岡山駅前乗入れ凍結陳情の継続審議
- 12/13-14 デジタルバスマップ合宿・下電ホテル**
- 12/14 第 17 回バスマップサミット in 岡山、岡山市勤労者福祉センター、懇親会**
- 12/15 バスマップサミット見学ツアー、西大寺営業所・牛窓・前島**
- 12/19 西辛川バス説明会、一宮駅への循環バス、南北バス、岡山市担当者説明を仲介**
- 12/24 国交省フォローアップ会議でバス事業の独禁法について議論。
- 12/29 第 395 回京橋朝市 瓦版 198 号「宇高航路 109 年の歴史に幕」
- 京橋朝市 13 回、瓦版 13 回、定例幹部会 35 回、ワイン電車など 17 回
正会員 51 名、賛助会員 38 名（内 2 社 23 万） 合計 89 名（昨年 56・33+2 社・91 名）

2020 年度事業報告

- 1/12 第 396 回京橋朝市、瓦版 199 号「明るい交通」～MaaS（マース）という魔法～
- 1/23 岡山県交通対策課意見交換（岡・宗田）この日コロナ武漢封鎖
- 1/24-25 ICOTNICOT フリマプラレール井戸端会議
- 1/31 倫理法人会朝講演「西大寺」
- 2/2 京橋朝市、瓦版 200 号「瀬戸大橋線 J R 西市駅からバスがあればもっと便利に！」記念カラー化
- 2/4 RACDA 定例会（コロナ禍につき、リアル会議最後）**
- 2/7 日本酒電車
- 2/12 山陽新聞シンポジウムワークショップ
- 2/20 山陽新聞シンポジウム交通テーマ、宇都宮教授来訪
- 2/20 瀬戸内交通シンポジウム、会長基調講演、パネル**
- 2/26～ 岡山市議会、答弁で駅前乗入れ・吉備線駅位置、バス問題など具体的に提示**
- 3/20 富山 LRT 直通運転に「富山・高岡宣言」文起草、参加は取り止め
- 3/28 RACDA 総会（コロナで縮小開催、勤労者福祉センター）

4/7 全国路面電車 NW 会議第 1 回 (Skype) コロナ対策で開始

4/14 全国路面電車 NW 会議第 2 回 (Skype) 緊急アピール起草

4/17 全国路面電車ネットワーク 48 団体緊急アピール・岡山市政記者クラブ発表

瓦版 201 号「コロナ不況は、100 年に 1 度の変革期①」ネット発行のみ

4/24 ぐらしの足緊急フォーラム Zoom 第 1 回 1000 人集会

5/11 瓦版 202 号「コロナ不況は、100 年に 1 度の変革期②」ネット発行のみ

5/12 全国路面電車 NW 会議第 6 回 (Zoom) 18 名拡大緊急フォーラム打合せ

5/29 ぐらしの足緊急フォーラム Zoom 第 2 回集会

6/3 瓦版 203 号「#交通崩壊」をみんなで乗り越えよう！」ネット発行のみ

6/7 JCOMM 緊急フォーラム Zoom

6/30 全国路面電車 NW 会議第 13 回 (Zoom) 19 名、バスマップ会議

7/5 瓦版 204 号「いつの時代も「お出かけ」出来る楽しさを」ネット発行のみ

7/19 逢沢一郎議員・コロナ下の制度財源について懇談

8/2 京橋朝市、瓦版 205 号「3 つのルールを守って電車バス、安全な移動を」カラー

8/4 全国路面電車 NW 会議第 18 回 (Zoom) 17 名、バスマップ部門創設

8/18 全国路面電車 NW 会議第 20 回 (Zoom) 17 名、BM、支援リスト作成開始

8/29 制度財源検討会 Zoom100 名参加、逢沢議員・三日月知事参加

9/6 京橋朝市、瓦版 206 号「リミット迫る交通崩壊その規模は・・・」カラー

9/18 岡山県バスデータ作成 GTFS 講習会参加

10/4 京橋朝市、瓦版 207 号「北海道鉄道消滅危機！全国のバスは大丈夫か交通ネットワークは国家戦略の目線で検討を」

10/6 全国路面電車 NW 会議第 27 回 (Zoom) 19 名、BMバスマップ直前打合せ

10/11 ぐらしの足をみんなで考える全国フォーラム Zoom バスマップ部屋主催 16 名

10/12 岡山市公共交通網形成協議会第 6 回、再編案提示、傍聴

10/15 山下たかし議員。コロナ下制度財源懇談

10/20 全国路面電車 NW 会議第 29 回 (Zoom) 25 名、バスマップ会議最終打合せ

10/25 RACDA25 周年記念・バスマップ Zoom 会議、参加 37 名

10/28 岡山県バスデータ作成 GTFS 講習会参加

10/31 制度財源検討会 Zoom100 名参加、田畑議員参加

11/1 京橋朝市、瓦版 208 号「公共交通網の再編、キーワードは協調と移動の「デザイン」」

11/13-15 土木計画学会 Zoom 参加、会長

11/17 全国路面電車 NW 会議第 33 回 (Zoom) 23 名、提言書最終打合せ

11/20 全国路面電車 NW 51 団体コロナ後の提言書記者会見・岡山市提出

12/3-4 市議会本会議傍聴

12/6 京橋朝市、瓦版 209 号「全国 51 団体でコロナ後の公共交通へ提言・利用者への支援拡充を」

12/22 全国路面電車 NW 会議第 38 回 (Zoom) 19 名、JR ダイヤ改正問題集中審議

瀬戸内市・赤磐市・和気町などに対応要請

12/24 国交省フォローアップ会議でバス事業の独禁法について議論。

12/29 第 395 回京橋朝市、瓦版 210 号「交通の未来へ立ち上がれ若手社員！」

京橋朝市 8 回、瓦版 12 回、定例幹部会 3 回、全国 Zoom 会議 39 回 (594 名)、日本酒電車 1 回

正会員 46 名、賛助会員 34 名（内 1 社 20 万） 合計 80 名（昨年 51・36+2 社・89 名 ）

2021 年度事業報告

- 1/13 帝塚山大学会長講演（Zoom）
- 1/22 ITS 研究会参加（Zoom、会長他 3 名）
- 2/7 第 408 回京橋朝市、瓦版 211 号「グリーンリカバリーと自転車の未来」
- 2/8 吉備線 LRT 化検討中断の記事掲載
- 2/16 全国路面電車 NW 会議第 45 回（Zoom）27 名、安藤裕衆議院議員講演
- 2/27 制度財源検討会（Zoom、会長他 5 名）
- 3/6 公共交通 OD フォーラム（Zoom、会長他 5 名）
- 3/7 京橋朝市、瓦版 212 号「30 分に 1 本を割り込む危機！これからは綿密な対話が不可欠」
- 3/23 全国路面電車 NW 会議第 50 回（Zoom）19 名**
- 3/27 RACDA 総会（コロナで縮小開催、禁酒会館）参加 36 名（内委任状 26 名）**
- 3/27 制度財源検討会（Zoom、会長他 5 名）
- 4/2 市民会館存続会議参加（会長他 3 名）
- 4/4 京橋朝市、瓦版 213 号「バスも便利な吉備線 L R T 化、ランデブー・コンセプト」
- 4/29 岡山理科大学ユニバーサルデザイン講座集中講義（会長・非常勤講師）
- 5/2 朝市中止 瓦版 214 号「マイカーは安全？思考停止から抜け出そう！」
- 5/15 制度財源検討会（Zoom、会長他 10 名、全国 150 名）小嶋光信氏講演
- 5/30 岡山経済同友会年次総会（Zoom、会長参加）
- 6/1 国会新交通システム推進議連総会（宇都宮・小田部他）**
- 6/5 栗生線の未来を考える会総会・会長講演（Zoom）
- 6/6 朝市中止 瓦版 215 号「公共交通の再生、マーケティングで考える①」
- 6/12 RACDA 大阪堺講演会（Zoom 参加、会長他 3 名）「トロリーバス」森五宏
- 7/1 岡山経済同友会地域振興委員会（会長）
- 7/4 第 411 回京橋朝市、交通井戸端会議、瓦版は 214・215 号配布
- 7/17-18 人と環境に優しい全国大会・滋賀（Zoom、会長他 5 名参加）
発表「コロナ下、RACDA の全国 Zoom 会議 1 年」
- 8/1 京橋朝市、瓦版 216 号「岡山の都心は再生成功！！自然豊かな郊外拠点再生が課題」
- 8/5 岡山県 GTFS データ作成講座（岡・松田）**
- 8/18 瀬戸内市総合政策部との意見交換（岡・宗田・松田）
- 8/21-22 JCOMM 熊本大会（Zoom、会長他 5 名参加）
- 8/31 瀬戸内市交通会議傍聴（会長）
- 9/2 備前市長副市長訪問懇談（岡・宗田・松田）
- 9/5 朝市中止 瓦版 217 号「電車バスとコンパクトシティ、牛窓・犬島応援隊を結成するぞ」
- 9/7 岡山経済同友会地域振興委員会（会長）
- 9/10 岡山県県民生活交通課との懇談会（岡・宗田・松田）
- 9/10 運輸総合研究所セミナー参加（Zoom、会長）

- 9/16 犬島アートバス打合せ（福武財団、会長）
 - 9/23 RACDA 理事堀脇正信葬儀参列（9/21 死去）
 - 9/23 市長選に関するコンパクトシティ論議活発化
 - 10/3 第 413 回京橋朝市、瓦版 218 号「公共交通の再生、マーケティングで考える②」
 - 10/7 西大寺活性化協議会森理事長と犬島アートバス打合せ
 - 10/12 犬島アートバス打合せ（小林市議・福武財団）
 - 10/18 西大寺活性化協議会と犬島アートバス第 1 回協議**
 - 10/20 岡山経済同友会岡山香川交流会（Zoom、会長）
 - 10/22 岡山市交通政策課と犬島アートバス協議
 - 10/26 西大寺活性化協議会総会で犬島アートバス企画提案
 - 11/5 犬島にて犬島アートバス打合せ（会長・小林市議・福武財団）
 - 11/7 第 414 回京橋朝市 瓦版 219 号「交通崩壊危機から 1 年！実態を大検証！」
 - 11/7 牛窓の瀬戸内市観光協会訪問、連携打合せ
 - 11/12 制度財源検討会（Zoom、会長他 5 名参加）小山市のコミバス事例
 - 11/16 岡山市無料デー牛島座犬島時刻表（2000 部）・古墳図鑑（3000 部）印刷配布**
 - 11/28 岡山市バス路面電車無料デー第 1 回**
 - 12/4-5 第 18 回全国バスマップサミット滝沢・松田参加（会長 Zoom 挨拶）
 - 12/5 第 414 回京橋朝市 瓦版 220 号「岡山市運賃無料 DAY 開催！反転攻勢のチャンス逃すな」
 - 12/8 運輸総合研究所フォーラム（参加 Zoom、会長）
 - 12/10 岡山市バス路面電車無料デー第 2 回
 - 12/23 禁酒会館全国 Zoom 会議打合せ（何・岡・宗田）
 - 12/28 犬島アートバス打合せ（会長・小林市議・福武財団）
 - 12/29 第 415 回京橋朝市 瓦版 221 号「岡山市運賃無料 DAY 開催！街も人も元気を取り戻そう！」
- 京橋朝市 7 回、瓦版 11 回、定例幹部会・全国 Zoom 会議 49 回（1088 名）、ワイン電車など 0 回
正会員 47 名、賛助会員 32 名（内 2 社 23 万） 合計 79 名（昨年 46・34+1 社・81 名 ）

2022 年度事業報告

- 1/7 瀬戸内市との交通意見交換会 Zoom、岡・松原
- 1/8 犬島バス打合せ（犬島）
- 1/9 第 417 回京橋朝市、交通井戸端会議、瓦版中止
- 1/14 JR 犬島バス打合せ、犬島バス打合せ（犬島）
- 1/24 地域公共交通総合研究所シンポジウム参加 Zoom
- 1/27 西大寺活性化協議会・犬島部会参加
- 1/28-29 長崎 LRT 都市サミット Zoom 参加**
- 2/1 笠岡市長へ訪問、全国路面電車 NW 会議第 92 回（Zoom）26 名
- 2/6 第 418 回京橋朝市、交通井戸端会議、参加中止
- 2/9 岡山県議会民主党系会派講演（JR 問題）
- 2/26 みどり岡山講演（交通問題）
- 3/6 京橋朝市 瓦版 222 号「交通もこれからはサブスク！？やわらか頭で集客を！」

3/16 チャギントン電車3周年イベント参加

3/26 RACDA 総会（コロナで縮小開催、禁酒会館）参加 36 名（内委任状 26 名）

3/29 西大寺活性化協議会参加、**全国路面電車 NW 会議第 100 回（Zoom）24 名**

4/3 第 420 回京橋朝市、交通井戸端会議

瓦版 223 号「SDGs に公共交通を使い倒そう」

4/7～ 備讃瀬戸アクセスマップ春版 10000 部配布開始

4/14 西大寺・犬島直行バス出発式（西大寺活性化協議会）

4/28 岡山理科大学ユニバーサルデザイン講座集中講義（会長・非常勤講師）

5/1 第 421 回京橋朝市、交通井戸端会議 瓦版中止

5/30 岡山経済同友会年次総会（会長参加）

6/5 第 422 回京橋朝市 瓦版 224 号「必要なのは「生活の足！」「お願い」から「実践」へ！」

6/11 第 25 回岡山路面電車まつり東山会場のみ開催

6/21 西大寺活性化協議会参加

7/3 京橋朝市、瓦版 225 号「参議院選挙・公共交通政策へ各党アンケート全国路面電車ネットワーク」

7/15 ビアガー電再開

7/28 笠岡農道離着陸場ありかた検討委員会第 1 回（会長は委員長）、瀬戸芸夏版配布開始

8/7 第 424 回京橋朝市、交通井戸端会議

瓦版 226 号「誰が為の公共交通か？JR 九州の苦境に想う」

8/27-28 第 18 回全国バスマップサミット松江参加（岡・松田・石井・沼本）

9/5 第 425 回京橋朝市、交通井戸端会議

瓦版 227 号「JR 路線、空想を超える現実対処には具体的な政策を！」

9/24～ 備讃瀬戸アクセスマップ秋版 10000 部配送開始

9/30 西大寺活性化協議会観光委員会参加

10/2 第 426 回京橋朝市、交通井戸端会議

瓦版 228 号「戻りつつある人流反転攻勢の機会を逃すな！」

10/7 西大寺活性化協議会犬島部会参加

10/16 鉄道記念日 150 周年駅前イベント参加（鉄道模型持参）

10/29-30 第 15 回全国路面電車サミット長崎参加（岡・石井・逢沢）

11/6 第 427 回京橋朝市、瓦版 229 号「鉄道 150 周年！令和のその先へ」

11/27 ハレマチ通り BMX イベント見学

12/4 第 428 回京橋朝市、瓦版 230 号「鉄道 150 周年！令和のその先へ②」

12/29 京橋朝市 瓦版 231 号「ライトレールで繋ぐまち岡山・倉敷連星都市圏」

京橋朝市 12 回、瓦版 10 回、定例幹部会・全国 Zoom 会議 49 回（1155 名）、ワイン電車 3 回
正会員 49 名、賛助会員 27 名（内 1 社 20 万） 合計 76 名（昨年 47・32 名・79 名）

2023 年度事業報告

1/4 岡山経済同友会新年賀詞交換会・会長参加

1/7 犬島バス打合せ（犬島）

1/8 京橋朝市、瓦版 232 号「2023 年春 JR ダイヤ改正に見る地域路線新時代の幕開け」

1/20 犬島バス打合せ（学芸館）

1/28-29 楯築ルネッサンスフォーラム岡山大学・後援

2/4 第 431 回京橋朝市、瓦版 233 号「AISAS モデルで見る公共交通 その常識古くない？」

2/13 笠岡農道離着陸場ありかた検討委員会（会長は委員長）

2/17 「クリーンモバイル岡山倉敷連星都市圏 3」 発刊・発送開始

2/21 全国路面電車 NW 会議第 145 回（Zoom）、宗田理事逝去（23 日葬儀参列）

2/24 ビアガー電運行

2/25 禁酒会館百周年記念式典・会長参加

2/28 全国路面電車 NW 会議第 146 回（Zoom）、SDGs 岡山世話人会 Zoom

3/1 岡山経済同友会文化スポーツ委員会・会長参加

3/4 第 432 回京橋朝市、瓦版 234 号「地図から消えるローカル線、次の世代に何を残すのか？」

3/9 第 65 回自治体学校 in 岡山瀬戸内市打合せ（会長・村上）

3/15 新潟トランス松谷顧問（元国交省都市局技術審議会）RACDA 訪問

3/25 RACDA 総会（禁酒会館）参加 36 名（内委任状 26 名）

3/28 全国路面電車 NW 会議第 150 回（Zoom）

4/2 第 433 回京橋朝市、瓦版 235 号「データが示す回復傾向ここが正念場だ！」

4/27 岡山理科大学ユニバーサルデザイン講座集中講義（会長・非常勤講師）

5/7 京橋朝市、瓦版 236 号「脱コロナ禍へ！乗客復活・公共交通再生関連法と路線存続」

5/22 岡山経済同友会総会・会長参加

5/25 SDGs 岡山・世話人として監査（会長）

5/30 岡山経済同友会年次総会（会長参加）

6/4 第 435 回京橋朝市、瓦版無し

6/16 犬島バス打合せ（犬島）

6/23 日本酒電車（企画・松田）

6/30 西大寺活性化協議会観光委員会参加（会長）

7/2 第 423 回京橋朝市、瓦版 238 号「都市交通としての鉄道を見直そう！」

7/9 第 26 回岡山路面電車まつり、東山線開業 100 年記念電車運行・雨天一部中止

7/15 ビアガー電本格再開・RSK テレビ生中継

7/23 第 65 回自治体学校 in 岡山・分科会富山大学金山教授基調講演・Zoom メンバー参加

8/6 第 437 回京橋朝市、瓦版無し

8/10 地域公共交通総合研究所円卓会議参加・会長ほか

8/25 国交省ロビー活動・会長

8/26 宇都宮ライトレール開業式典・会長式典参加、路面電車サミット準備開始

9/3 京橋朝市、瓦版 239 号「宇都宮ライトレール開業、構想 30 年 75 年ぶり新設！」

9/5 全国路面電車 NW 会議第 172 回（Zoom）、山陽新聞交通取材

9/21 岡山経済同友会地域振興委員会参加・会長

10/1 第 439 回京橋朝市、瓦版 240 号「岡山の鉄道便利に使える路線はどれ位？」

10/14 鉄道記念日駅前イベント参加（鉄道模型持参）

10/18 岡山経済同友会地域振興委員会・会長参加

- 10/21 交通環境フォーラム制度財源検討会・会長 Zoom 参加
- 10/23 岡山市議会みらいえレクチャー・会長
- 11/5 第 440 回京橋朝市、瓦版 241 号「車のコスト、計算してますか?」
- 11/25 橋梁ルネッサンスフォーラム倉敷古代三稲物語 2・後援、会長コーディネーター**
- 11/30 岡山市公共交通網形成協議会・会長傍聴
- 12/3 京橋朝市、瓦版 242 号「2024 年問題、何がヤバい! その①バス運転手不足加速」
- 12/11 国会新交通システム推進議連総会・会長参加、国交省ロビー活動**
- 12/24 RACDA 大阪・堺フォーラム参加・会長
- 12/29 第 429 回京橋朝市、瓦版無し

京橋朝市 13 回、瓦版 10 回、定例全国 Zoom 会議 50 回 (1250 名)、ビアガー電 11 回
正会員 51 名、賛助会員 24 名 (内 1 社 20 万) 合計 75 名 (昨年 49・27 名・76 名)

2024 年度事業報告

- 1/4 岡山経済同友会新年賀詞交換会・会長参加
- 1/14 第 443 回京橋朝市、瓦版 243 号「2024 年問題、運転手不足何がヤバい? その②」
- 1/26-27 LRT 都市サミット宇都宮**
- 1/27-28 第 16 回全国路面電車サミット宇都宮、事務局担当、懇親会 117 名、本会議 142 名**
- 2/4 第 20 回全国バスマップサミット江戸川、記念冊子配布**
- 3/1 岡山経済同友会地域振興委員会、会長参加
- 3/3 第 445 回京橋朝市瓦版 244 号「全国路面電車サミット宇都宮 都市交通再構築を議論」
- 3/16-17 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会上田、Zoom 会議発表**
- 3/19 東大・吉村教授退官講義参加・会長
- 3/24 RACDA 総会 (禁酒会館) 参加 29 名 (内委任状 17 名)
- 3/26 全国路面電車 NW 会議第 200 回 (Zoom)**
- 4/7 第 446 回京橋朝市、瓦版 245 号「岡山市バス路線網再編 利便増進計画 1 の概要紹介」
- 4/20 岡山理科大学ユニバーサルデザイン講座集中講義 (会長・非常勤講師)
- 5/5 第 447 回京橋朝市、瓦版 246 号「公共交通にも CS の概念を」
- 5/7 JR 岡山支社、都市交通・観光懇談
- 5/10 犬島・瀬戸芸打合せ
- 5/13 全国低床電車導入実績調査開始**
- 5/21 岡山経済同友会総会・会長参加
- 5/25 SDGs 岡山・世話人として監査 (会長)
- 6/2 第 448 回京橋朝市、瓦版 247 号「芸備線問題に見る 地域鉄道維持の諸問題」
- 6/8 第 27 回岡山路面電車まつり・東山、岡山 GTFS 運行頻度地図公開**
- 6/15-16 バスマップハンドブック合宿・岡山県青年館、7 名参加
- 6/24 近畿車輛訪問、低床電車開発、清水・松原同行
- 7/7 第 449 回京橋朝市、**瓦版 248 号「全国路面電車低床率調査と共同発注車両の開発」**
- 7/13 交通権学会・大阪、会長発表
- 7/15 地域公共交通総合研究所フォーラム Zoom 参加

- 7/17 犬島・瀬戸芸打合せ
- 7/21 高知 CCRC、とさでん問題で会長参加
- 8/4 第 450 回京橋朝市、瓦版 249 号「公共交通をマーケティングで元気にしよう！」
- 8/10 地域公共交通総合研究所円卓会議参加・会長ほか
- 8/24-25 JCOMM 福井参加、バスマップサミット懇親会同時開催**
- 8/25 第 21 回全国バスマップサミット福井、バスマップハンドブック発行**
- 9/1 京橋朝市台風中止、瓦版 250 号「岡山の都心再生と電車バス 固定資産税の各都市比較」
- 9/2 犬島バス・岡山市役所打合せ
- 9/3 駒澤大学・地理学ゼミに講演、会長
- 9/21 岡山経済同友会地域振興委員会参加・会長
- 9/23 ナビレンス等講演傍聴・操山公民館
- 9/26 岡山経済同友会地域振興委員会「岡山都市交通リノベーション」太田恒平講師 80 名**
- 10/6 第 451 回京橋朝市、瓦版 251 号「全ての施策も安全から。信用と信頼を大切に」
- 10/12 鉄道記念日駅前イベント参加（鉄道模型持参）**
- 10/19 日本科学者会議・岡山大学、中国地方の鉄路問題、桜井徹講演
- 10/21 衆議院総選挙主要 7 政党アンケート・岡山記者クラブ発表**
- 10/23 岡山市議会みらいえレクチャー・会長
- 11/3 第 452 回京橋朝市、瓦版 252 号「車 1 割削減、渋滞半減公共交通 2 倍を岡山で実現」
- 11/15 「都市交通決起集会」土木計画学会・東大連携、参加 100 名、Zoom100 名**
- 11/26 全国路面電車 NW 会議第 235 回（Zoom）メンバーの猪田さん、事故で死去
- 12/1 京橋朝市、瓦版 253 号「地方鉄道再び冬の時代に考えるべき論点とは、芸備線は」
- 12/4 西大寺活性化協議会犬島部会、会長参加
- 12/24 全国路面電車 NW 会議第 239 回（Zoom）
- 12/29 第 454 回京橋朝市、瓦版無し

京橋朝市 11 回、瓦版 11 回、定例全国 Zoom 会議 50 回（約 1500 名）、ビアガー電 0 回
正会員 44 名、賛助会員 23 名（内 1 社 20 万） 合計 67 名（昨年 51・24 名・75 名）